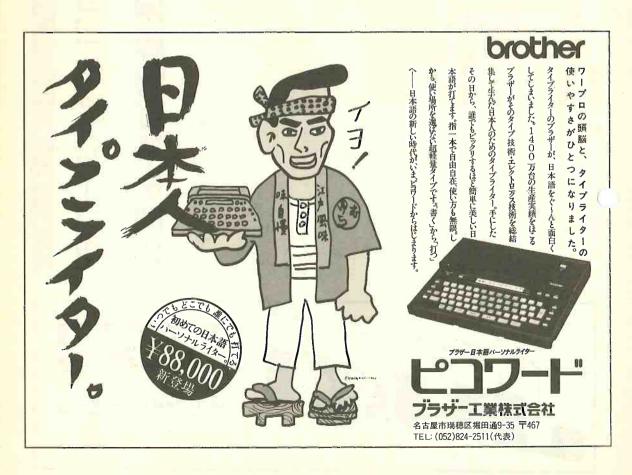
DESCENTE

生存のすべてを託す、一球のシュートもある。

スポーツマンたちは激しい練習に耐える。それは満足のいくプレーを行うためである。
自らが描いたイメージを、自らの肉体によって実現することが、
彼らの目標であり、彼らのよろこびでもある。
それが無為な行為だとしたら、ロマンと呼んでいいかも知れない。
それこそが、スポーツマンたちの生活そのものであるから。
「アディダス」ハンドボールウェアは、最新の機能で彼らのロマンに応えます。

第8回 全国高校選抜大会を終えて

圧巻！選び抜かれた若者の好プレー続出

一層の体力アップで国際的展望を期待

高体連 金原 至

昭和59年度全国高等学校ハンドボール選抜大会は、ことしも3月24日から5日間愛知県立体育館に、全国から集まってきた男女あわせた50チームによって盛大に開催された。

8回目にあたる本大会は、選び抜かれた若者達のハツラツとした目ざましいプレーもさることながら、例年にない観客の多さが目をひいた。その中には遠く静岡や大阪からやってきた選手とは直接無縁の一般ファンの観戦がふえ、ハンドボール競技の大衆への拡がりということで、関係者にとっては望外の喜びであった。

すばらしかった男子決勝

今大会は、男子決勝戦の息つく暇を与えない緊迫した好ゲームで終止符を打ち、実りのあるものであった。全日程を振り返って、印象に残ったチームは、女子では名短附、小松市女、四天王寺、昭和学院が実力伯仲しており、続いて熊本女商、水海道二。男子では久留米工大附、中京、岩国工等があげられる。

女子決勝戦に進出した小松市女は、昨年にひき続き優勝を狙う実力優位のチーム、サウスポー四番を中心に安定した強力なチームであったが、優勝への道程は険しくも長いことを思わせた。一方の名短大附は初優勝をかけて、気迫充実の上に、破壊力のある四番ロングシュート、サイド攻撃、GKのキーピングの良さで小松市女の連覇を阻み、勝利の栄冠は地元名古屋に輝いた。

男子決勝は、すばらしいの一語に尽きる。初出場の横浜商工高、今回二度目の瓊浦高と互いに全国決勝の舞台は初めてのチーム。試合経過は全く決勝戦にふさわしい好ゲームで見事な一戦であった。横商工は選抜大会で常勝の久留米工大附を破った地元中京に逆転勝利をするなど初戦から好調で素晴らしいゲーム展開を見せた。キープは抜群であり、速攻型チームである。攻撃にはポストへの連携プレーは巧みだが、これといった型はない。しかし、相手チームへの対応力がうまく又シュートに破壊力をもった6番を中心に闘志満々のチームである。対する瓊浦は5回大会に出場したときの印象では、フットワークあり機動ありといったコンビネーションのとれたさわやかなチームであった。今回は更に大型でロングシュートや多彩なプレーを見せる2番を中心によくまとまり、デフェンス力と粘り強さが魅力、また淡々としたゲーム運びと随所にみせる頭脳的プレーはすばらしい。

互いに初優勝をかけて対戦となったが、横浜商工は序盤で3点のリードを許し、そのまま11—8と後半に入った。経過は進むにつれて白熱化した。逆転また逆転、手に汗する全く気の抜けない緊迫したゲーム展開となった。1点差で迎えた後半残りあとわずか、瓊浦1点リード、このまま追いすがる横商工を振り切って初優勝を手中にしたかに思えたが、素早い動きを見せる横商工は、あと40秒で得意のポストプレーが見事に成功、

延長にもちこんだ。延長に入った両チーム。必至の闘いの中で一進一退を続け、一つのミスも許されない緊迫した試合、繰り広げられる美技の連続に観衆も酔った。22―21と1点リードして勢いに乗る横商工は最後に最も得意とするポストプレーで3番のシュートが決まり勝点となった。この観戦は私にとって大変幸せな一日であった。

願わくば、この中から日本のハンドボールを担う有為な人材（プレヤー）として成長してくれることを期待したい。

将来的課題

試合全般を通していうなら、技術面では多彩な内容をもつし、年々それは向上してきている。しかしながらそれを支える基礎的な体力、とくに下半身、脚力のひ弱さを感ずるのは私だけではあるまい。国際スポーツとして日本の将来を考える場合、この体力的劣性が埋まらない限り、明るい展望は望めないだろう。よくいわれるように、この原因の一つは、ハンドボールが年間を通したオールシーズン制になってきていること、また即戦力としての技術面を強調する余り、とかく基礎となる体力養成が等閑視されることになっているのではなかろうか。基礎体力を鍛える練習時間が以前のように（冬期ではシーズンオフとして体力を養う期間となっていたが）持たれ難くなっている。私としては年間を通して練習量の三分の一程度筋力トレーニングにあててほしい。これもプレーに一層の力強さを望むが故である。いかにプレーが多彩になり、テクニックが伸びてきても、これだけでは国際的にたちうちできまい。

ちなみに、今度の大会を観戦していた現ナショナルチームの野田監督は次のように語っている。「先ず何よりも体重と上半身（胸幅や厚み）を強大にしていかなければならない。このために、ナショナルチームでは32種類の食事を摂るように気遣っている。高校生にもバランスのとれた食事、十分なる睡眠といった生活習慣が確立されることこそ望まれる」と強調されていた。今後志向すべき方向を十分に示唆している言葉として私も同感である。

また技術面からいえば、体と体の接触プレーの中に更に研究されねばならぬ点もあるが、体力的劣性からそれは望みえないことにもなりかねない。従来から、心・技・体といわれているが、現在どちらかといえば「体」を最優位に置かねばなるまい。

そして体力の充実を図り、そのたくましい体力の限界の中で精神を一層強靭なものに養成していかねばならないと考えるのである。

「スポーツから体験する学習」

こうしてペンを手にしていて、私がしみじみ感じることは、青春の真只中でスポーツに熱中している若者達は何とすばらしく、幸せなことであろうかということである。

彼らの多くは日本一を目指すチャンピオンスポーツの中に身をおくがゆえに、確かにスポーツに身を入れすぎているのかもしれない。またそれゆえに失うものも少なくないかもしれないのである。しかし他方で、彼らはより多くのものを得ていることであろう。そのいくつかを取りあげてみたい。

・先輩や仲間と火花を散らし、全身の力をこめて身体をぶっつけ合うなかで彼らの体得していくものは何であろうか。

・自分のプレーの一つ一つが勝負のカギを握るという緊張の連続のなかで体得していくものは何であろうか。

・各自が集団の一員として、役割と責任を果たすために、個性的、独創的なプレーヤー！として成長する中で体得していくものは何であろうか。

・苦しみ、悩み汗水を流してようやく自分のものにした時の喜びと達成の体験の中で体得していくものは何であろうか。

チャンピオンスポーツとしてハンドボールを考えるなら、これは、一人一人が独立したプレーをもち、しかも協調して相手チームとぶつかり合うという形をとる。

当然各人に要求されることは、いかに独創性を発揮し、磨き、高めるかということであって、ただいたずらに汗を流すだけでは、集団の一員としての役割、責任を果たすことはできないのは個人が社会における存在意義と全く同然である。

以上のように考えるとき、スポーツ活動を通しての貴重な学習は疑う余地はないものと私は信じもし、若者に接しているのである。

ついつい私の所懐をのべることに紙数をとる結果になって、恐縮次第もない。

最後にこの大会を大きく支援下さった愛知県ハンドボール協会、愛知県高体連ハンドボール部、その他地元関係各位の御尽力に心から感謝を申しあげると共に、今大会が大成功裡に終了したことを無上の喜びとする次第であります。

第8回全国高等学校選抜大会全詳報

高校生たちの熱き戦いの記録

男子

横浜商工延長で初優勝をかち取る

▼1回戦

明星（東京）22〔12－6／10－9〕15 **高島**（滋賀）

〔高島〕

	選手	得
GK	納本	0
GK	山崎	0
FP	水谷	0
FP	萬木	4
FP	西川	3
FP	西沢	3
FP	澤井	1
FP	本間	0
FP	河方	0
FP	田中	4
FP	村山	0
FP	加藤	0
PT	(1)	15

〔審・工藤、川合〕

〔明星〕

	選手	得
GK	宮田	0
GK	伊藤	0
FP	富所	7
FP	鈴木	1
FP	矢ケ崎	1
FP	松本尚	0
FP	政	2
FP	唐川	2
FP	石井	0
FP	中里	7
FP	坂庭	2
FP	松本音	0
PT	(1)	22

○…立ち上がり速い攻めの明星とセット中心の高島のゲーム展開で始まったが、明星・富所を中心とした多彩な攻めに対して高島ディフェンスが守り切れずに前半12対16で終った。後半は、高島・田中らの活躍により粘り強い攻撃を展開し、一進一退の好ゲームとなったが、明星が前半の貯金を守り逃げ切った。

尾道（広島）23〔10－6／13－7〕13 **釧路湖陵**（北海道北）

○…前半、両チーム共コンビネーションが合わずミスが多い展

〔釧路〕

	選手	得
GK	中井	0
GK	池田	0
FP	国安	6
FP	前野	1
FP	松沢	2
FP	津村	0
FP	杉山	1
FP	柴田	2
FP	佐々木	0
FP	佐藤	0
FP	川口	0
FP	吉川	0
PT	(6)	13

〔審・細井、永田〕

〔尾道〕

	選手	得
GK	浅川	0
FP	高垣	9
FP	大野	6
FP	石井	2
FP	吉井	3
FP	平田	0
FP	山崎	3
FP	光吉	0
FP	土居	0
FP	新田	0
FP	西迫	0
PT	(2)	23

開。10分過ぎまで釧路湖陵が速攻で得点を重ねるが、以後次第にリズムを取り戻した尾道が高垣、大野のロングを中心にしたセット攻撃により、逆に4点差をつけ前半を終える。釧路湖陵ディフェンスの粗さがやや目立った。

後半は立ち上がりから尾道が速攻を中心に得点、守って5分から20分過ぎまで相手得点を1点に封じ試合を決定づけた。釧路湖陵も国安のロングを中心に必死に反撃を試みるが、最後まで活路を見い出せず敗退した。

新居浜工（愛媛）18〔10－6／8－8〕14 **愛知**（愛知）

○…まず口火を切ったのは新居

〔愛知〕

	選手	得
GK	沖野	0
GK	馬淵	0
FP	植村	4
FP	鯨井	2
FP	多田	0
FP	山下	2
FP	鹿島田	0
FP	山口	7
FP	山田	2
FP	加藤	0
FP	柵村	1
FP	寺澤	0
PT	(0)	18

〔審・斉藤、千野〕

〔新居浜〕

	選手	得
GK	山口	0
GK	浅田	0
FP	高石	4
FP	西原	2
FP	村上	0
FP	萬屋	2
FP	立花	0
FP	長嶺	7
FP	佐藤	2
FP	河崎	0
FP	石川	1
FP	岩川	0
PT	(0)	18

浜工。長嶺のカットインで先制、しかし、愛知も山下のロングで応戦、まずは互角といったところ。中盤、一歩抜き出たのは新居浜工。愛知のシュートをGKの好守から速攻につなぎ得点。愛知はシュートチャンスはつくるのだが、相手GKの良さにとまどい気味、攻めも単調になってきた。

後半、愛知も長嶺に対しマンツーで守り起死回生を図るが、新居浜工はポスト、サイドから加点、リードを保つ。ムードが変ったのは後半残り10分ぐらいからで、愛知が速攻、スカイプレーを鮮かに決めるなど最後の踏んばりを見せた。しかし、勝負どころでつめの甘さと新居浜GK・山口の再三の好守に阻まれ愛知は涙を飲んだ。

瓊浦（長崎）24〔9－8／15－11〕19 **小松工**（石川）

〔小松〕

	選手	得
GK	釜田	0
GK	北野	0
FP	中出	0
FP	松本	1
FP	古谷	12
FP	吉田	1
FP	関戸	2
FP	今江	1
FP	太田	2
FP	中村	0
FP	橘	0
FP	宮西	0
PT	(1)	19

〔審・川島、森〕

〔瓊浦〕

	選手	得
GK	高田	1
FP	田中	6
FP	末岡	1
FP	猪野	0
FP	池井	9
FP	木下	3
FP	佐藤	0
FP	永田	1
FP	森	3
FP	町田	0
FP	岡部	0
PT	(3)	24

○…立ち上がり両チーム共固さが目立ち単調なプレーが続いたが4分過ぎに小松工が先制、しかし瓊浦もすぐに追いつく。その後一進一退のスピードあふれる好試合で前半9対8と瓊浦が1点をリード。後半に入って小松工にパスミスが続き、瓊浦が2分過ぎから速攻、ペナルティで連続5点を取り波に乗った。

小松工も最後まで善戦したが、地力に勝る瓊浦が24対19で勝利を手にした。

湯沢（秋田）23〔12－7／11－8〕15 **那賀**（和歌山）

〔那賀〕

	選手	得
GK	谷沢	0
FP	倉沢	4
FP	安田	0
FP	浜野	0
FP	山本	0
FP	田中	2
FP	上野	4
FP	平松	5
FP	上野	0
PT	(0)	15

〔審・大橋、久保田〕

〔湯沢〕

	選手	得
GK	市川	0
GK	菅原	0
FP	柴田	5
FP	最上	3
FP	佐藤明	6
FP	赤平	5
FP	渡辺	2
FP	和賀	1
FP	高山	1
FP	加藤	0
FP	佐藤実	0
FP	佐々木	0
PT	(2)	23

○…両チーム共チームカラーを十分に生かしたゲーム展開を見せ、15分近くまで一進一退の展開だったが、那賀はそこから約10分間の無得点がひびき、12対7と湯沢ばリード。後半に入って立ち上がり那賀は上野の速攻で得点しペースに乗るかに見えたが、湯沢・赤平がロングを決め、また点のとり合いとなり、湯沢がじりじりと突き放した。

久工大付（福岡）37〔16－8／21－3〕11 **八雲**（北海道南）

○…久工大付は、評判通りのスピードと高さから多彩な攻めを見せ着実に得点した。全員がシュートを狙い、ボールを持っている者に合わせて入ってくるオールラウンドプレーヤーである。一方八雲は、久保田のステップシュート、フォーメーションからのスカイプレーで反撃するが、久工大付の速

位置	〔八雲〕	得
GK	須藤	0
FP	久保田	5
	古田	4
	藤林	0
	中村	0
	山田	1
	小泉	1
	工藤	0
	一谷	0
	亀本	0
	山本	0
PT	(1)	11

〔審・細井、永田〕

位置	〔久工大〕	得
GK	井上	0
	宜保	0
FP	田中	2
	小池	4
	松尾	5
	柴田	0
	川崎	6
	大中	5
	島田	1
	笠	6
	山口	6
	竹内	2
PT	(3)	37

いペースにはついていけず16対8のダブルスコアで前半を終了。
　後半に入っても久工大付の攻めは衰えず、フィールドプレーヤー全員が得点する強さを見せた。八雲は後半3得点にとどまり、久工大付のスピードと高さに対抗できなかった。

岩国工（山口）33〔15－8 / 18－6〕14 県岐阜商（岐阜）

位置	〔岐阜〕	得
GK	浅野	0
	鵜飼	0
FP	今尾	0
	田島	0
	田口	0
	田中伸	2
	貢	3
	安江	0
	田中公	2
	日置	0
	片岡	3
	石原	4
PT	(1)	14

〔審・辻、国府〕

位置	〔岩国〕	得
GK	下宮	0
	岡本	0
FP	松本	5
	千葉	8
	松永	3
	藤本	11
	白石	2
	上村	0
	笹川	4
	稗田	0
	貴船	0
	金岡	0
PT	(4)	33

○…立ち上がり動きの固い県岐阜商は、やや強引とも思われるロングシュートが多く、岩国工がGKの好守もあって速攻で得点をあげる。その後も相手パスミスなどから徐々に得点を引き離す。後半県岐阜商もよく頑張るが、岩国工のディフェンスを崩し切れず、ムダなシュートが多く敗れ去った。

興　南（沖縄）20〔5－7 / 15－7〕14 高松商（香川）

位置	〔高松〕	得
GK	平田	0
	中村	0
FP	稲沢	0
	宮武	0
	後井	2
	岩部	2
	稲垣	1
	浜田	3
	細川	1
	藤澤	2
	竹内	2
	吉馴	1
PT	(0)	14

〔審・中根、秋山〕

位置	〔興南〕	得
GK	比嘉	0
	平良靖	0
FP	宮城守	1
	具志堅	3
	平良喜	0
	与儀	1
	宮城一	8
	上原	4
	我如古	3
	国頭	0
	宮城広	0
	宮城正	0
PT	(1)	20

○…1分、興南・具志堅のロングシュートで先制。高松商もすかさず細川のシュートで同点とするが、その後両チーム共雑なプレーが続く。後半に入って4分過ぎ、興南は宮城の速攻が決まってからようやく調子を取り戻し、連続5得点をあげて逆転。その後も着実に得点を重ねて高松商をふり切った。

都島工（大阪）24〔13－8 / 11－11〕19 高岡向陵（富山）

位置	〔高岡〕	得
GK	小林	0
	寿田	0
FP	大森	5
	大江	5
	笠谷	0
	古川	3
	金森	0
	吉田	6
	永屋	0
	道下	0
	大石	0
	広瀬	0
PT	(0)	19

〔審・後藤、島田〕

位置	〔都島〕	得
GK	佐々木	0
	白形	0
FP	城戸	3
	熊谷	5
	小峠	1
	加地	8
	松田	1
	寛	3
	川本	1
	平居	1
	山下	1
	松井	0
PT	(4)	24

○…都島工は速攻で、高岡向陵はセット攻撃で得点。後半に入って両チーム共雑なプレーが多く、反則が多くなった。両チーム共相手ミスを速攻につなげて点の取り合いとなったが、結局都島工が前半のリードを守り切った。全体を通してフローターの差とボールを持った時のスピードの差が得点に表われたようである。

▼2回戦

明　星 19〔8－9 / 11－6〕15 四日市工（三重）

位置	〔四日市〕	得
GK	森	0
	服部	0
FP	中山	0
	久保	4
	眞島	3
	吉見	4
	岡崎	1
	小林	2
	功刀	1
	藤井	0
	加藤	0
	伊藤	0
PT	(0)	15

〔審・辻、国府〕

位置	〔明星〕	得
GK	宮田	0
	伊藤	0
FP	富所	0
	鈴木	2
	矢ケ崎	0
	松本尚	0
	政	3
	唐川	5
	石井	0
	中里	6
	坂庭	3
	松本普	0
PT	(2)	19

○…1分過ぎ明星が速攻で先取点をあげたが、中盤は一進一退の展開となった。両チーム共GKの好守で好ゲームとなる。後半に入っても激しい攻防を展開したが、明星は1年生GK・伊藤の再三の好守で四日市工の攻撃を狂わせ、じりじりと引き離した。

学法石川（福島）21〔10－8 / 11－11〕19 尾　道

位置	〔尾道〕	得
GK	浅川	0
	吉田	0
FP	高垣	4
	大野	7
	石井	0
	吉井	2
	平田	3
	山崎	1
	光吉	1
	土居	0
	新田	0
	西迫	0
PT	(1)	18

〔審・北山、奥田〕

位置	〔学法〕	得
GK	三宅	0
	先崎	0
FP	関根	0
	石川	2
	内田	2
	秋葉	3
	国井	0
	渡辺	0
	佐野宏	3
	木戸	8
	佐野文	3
	鈴木	0
PT	(0)	21

○…前半、両チーム共ディフェンスがよく動き、相手の大砲をよくツメていた。しかし、15分過ぎから尾道の攻撃が単調となり、学法石川がパスカットから速攻につなげ、10対8と前半2点をリード。後半に入って尾道は同点に追いついたが、再び攻撃にミスが出て学法石川に連続得点を許し、懸命に反撃したものの前半の得点差をツメることはできなかった。

新居浜工 18〔10－10 / 8－7〕17 東　山（京都）

位置	〔東山〕	得
GK	梯	0
	藤井	0
FP	岩成	2
	内田	11
	橋本	3
	浅見	0
	児島	1
	吉田	0
	伊庭	0
	小島	0
	刑部	0
	山守	0
PT	(5)	17

〔審・工藤、川合〕

位置	〔新居浜〕	得
GK	山口	0
	浅田	0
FP	高石	5
	西原	2
	村上	0
	萬屋	2
	立花	0
	長嶺	6
	佐藤	3
	河崎	0
	石川	0
	岩川	0
PT	(0)	18

○…立ち上がり2分、新居浜工が速攻で先取するが、東山もPTで同点、その後一進一退の攻防が続く。後半に入り両チーム共雑な攻撃であったが、相手ミスをうまくついた新居浜工・長嶺のロング、速攻などで着実に加点し、20分には5点をつける。
　点差がついて緊張の糸が切れた新居浜工のスキをついた東山が猛反撃、1点差まで追いすがったが及ばなかった。

瓊浦 22 〔9－11、13－9〕 20 富岡（群馬）

得	〔瓊浦〕		〔富岡〕	得
0	高田	GK	神保	0
9	田中	FP	清水	0
2	末岡		斉藤	1
0	猪野		井森	3
6	池井		加藤	5
2	木下		中沢	1
0	佐藤		東崎	7
0	永田		田村	1
3	森		井上	0
0	町田		岡部	0
0	岡部		小金沢	2
			篠崎	0
22	(1)	PT	(1)	20

（審・岩本、板倉）

○…前半、富岡は東崎の思い切りのよいミドルシュート、カットインを中心に全員がまんべんなく走って打ち得点をあげた。一方、瓊浦もサイド、フローターの速いカットイン、ロングなどで対抗。前半11対9と富岡の2点リードで終了。後半始まって瓊浦が3点連取、12対11と初めてリード。その後両チーム共スピードあふれる攻防、両GKの好守で一進一退の展開、残り2分半19対19。ここで富岡のパスをカット、うまくつないで瓊浦が1点をリード。さらに富岡に退場者が出る間に加点、好ゲームに終止符をうった。

竹園（茨城） 33 〔15－12、18－10〕 22 湯沢

得	〔竹園〕		〔湯沢〕	得
0	大竹	GK	市川	0
2	本藤		菅原	0
9	中根	FP	柴田	4
6	押味		最上	4
4	大輪幸		佐藤明	7
12	岩下		赤平	7
0	田村		渡辺	0
0	田中		和賀	0
0	柴田		高山	0
0	大輪和		加藤	0
0	登坂		佐藤実	0
			佐々木	0
33	(3)	PT	(2)	22

（審・中根、秋山）

○…前半、互いに点を取り合い中盤まで互角の展開だったが、次第に竹園がリードを奪い、15対12と3点で前半を終了。後半に入っても前半と同じように点の取り合いとなったが、10分に湯沢・柴田の退場から竹園は24対18とし、中盤からは確実に点差を広げてふり切った。

中京（愛知） 18 〔11－7、7－9〕 16 久工大附

得	〔中京〕		〔久工大〕	得
0	西井	GK	井上	0
0	奥野		宣保	0
2	大橋	FP	田中	7
3	大澤		小池	1
4	三輪		松尾	1
3	鹿嶌		柴田	0
2	堀田		川崎	0
4	安井		大中	2
0	平松		島田	0
0	永谷		笠	0
0	中島		山口	4
0	佐藤		竹内	1
18	(0)	PT	(2)	16

（審・北山、奥田）

…地元の大声援受けて中京が開始20秒、三輪のロングで先制。両チーム共速い動きと巧みなパスワークで応酬。

中京が三輪を中心にのびのびとしたプレーで着実に加点、久留米もサイド、ポストで応戦するが、11対7と中京のリードで前半を終了した。

後半の立ち上がりも中京が好調なすべり出し、9分には15対9と6点リード。しかしここから久留米が猛反撃、22分過ぎには18対16と2点差にまで追いあげたがここまで。惜しくも追いつくことが出来ず、まさに優勝戦ともいえるような好試合だった。

岩国工 32 〔17－12、15－18〕 30 興南

得	〔岩国〕		〔興南〕	得
0	下宮	GK	比嘉	0
0	岡本		平良靖	0
7	松本	FP	宮城守	0
9	千葉		具志堅	6
1	松永		平良喜	0
11	藤本		与儀	2
0	白石		宮城一	4
0	上村		上原	12
4	笹川		我如古	5
0	稗田		国頭	1
0	貴船		宮城広	0
0	金岡		宮城正	0
32	(4)	PT	(5)	30

（審・細井、永田）

○…立ち上がりから両チーム共スピーディなゲーム展開となった。岩国工は藤本と千葉のロングシュートを中心に攻撃、一方興南は上原、具志堅のサイドシュートで応戦。15分、岩国工は興南のパスミスから速攻に転じ着実にリードを広げた。後半、興南はディフェンスの甘くなった岩国工のスキを突き3点差に追い上げたが、岩国は藤本の落ち着いたプレーでリズムを取り戻した。興南もしぶとく追いすがったが、結局総力に勝る岩国工が前半のリードを生かし逃げ切った。

横浜商工 17 〔10－7、7－6〕 13 都島工

得	〔横浜〕		〔都島〕	得
0	糸井	GK	佐々木	0
0	小泉		白形	0
5	五反田	FP	城戸	2
1	片桐		熊谷	1
0	土島		小峠	2
0	小山		加地	5
6	呉座智		松田	1
0	小笠原		寛	2
0	中地		川本	0
3	呉座英		平居	0
3	中村		山下	0
0	馬場		松井	0
17	(0)	PT	(1)	13

（審・川島、森）

○…前半、横浜商工はポストシュートで、都島工は力強いロングで得点、前半は10対7と横浜がリード。後半に入り両チーム共GKの好守、ディフェンスがよくなかなか得点出来ない。

最後は粘り強くチームカラーを出しつづけた横浜のリズムでゲームは終った。

▼3回戦

学法石川 17 〔7－7、10－8〕 15 明星

得	〔学法〕		〔明星〕	得
0	三宅	GK	宮田	0
0	先崎		伊藤	0
0	関根	FP	富所	5
1	石川		鈴木	0
2	内田		矢ケ崎	2
6	秋葉		松本尚	0
0	国井		政	2
0	渡辺		唐川	3
2	佐野宏		石井	0
4	木戸		中里	3
2	佐野文		坂庭	0
0	鈴木		松本普	0
17	(1)	PT	(0)	15

（審・秋永、丹田）

○…学法石川は石川、木戸のロングシュートを中心に、明星は速攻、ポストシュートで攻める展開で前半は同点で終了。後半に入っても両チーム共持ち味を十分発揮し、一進一退の展開となる。15分過ぎ13対13となったところで明星に退場者が出てその間に学法石川が連続得点をあげ、その差を保って逃げ切った。

瓊浦23（8－8、15－11）19新居浜工

〔新居浜〕	選手	得
GK	山口	0
GK	浅田	0
FP	高石	3
FP	西原	2
FP	村上	0
FP	萬屋	3
FP	立松	0
FP	長嶺	8
FP	佐藤	2
FP	河崎	0
FP	石川	1
FP	岩川	0
計	PT (0)	19

〔瓊浦〕	選手	得
GK	高田	0
FP	田中	8
FP	末岡	1
FP	猪野	1
FP	池井	7
FP	木下	0
FP	佐藤	0
FP	永田	0
FP	森	6
FP	町田	0
FP	岡部	0
計	PT (1)	23

（審・岩本、板倉）

○…新居浜工・長嶺、瓊浦・池井の2人が試合のカギを握った。勝敗は、後半のこの2人の働きによって決まった。後半瓊浦は長嶺にマンツーマンをひき2点に押さえた。一方の池井は1人で5点をあげ、田中、森らも生かして、後半新居浜工を突き放し、快勝した。

中京31（18－9、13－11）20竹園

〔竹園〕	選手	得
GK	大竹	0
FP	本藤	5
FP	中根	5
FP	押味	4
FP	大輪幸	2
FP	岩下	4
FP	田村	0
FP	田中	0
FP	柴田	0
FP	大輪和	0
FP	登坂	0
計	PT (1)	20

〔中京〕	選手	得
GK	西井	0
GK	奥野	0
FP	大橋	6
FP	大澤	2
FP	三輪	6
FP	鹿島	4
FP	堀田	5
FP	安井	0
FP	平松	4
FP	永谷	3
FP	中嶋	1
FP	佐藤	0
計	PT (1)	31

（審・大橋、久保田）

○…立ち上がり中京が三輪のロング、カットイン、大橋のポストなどで先行、中盤までに6点差をつけた。

竹園もサイドからの回り込みなどで対抗するも、18対9と大差をつけられて前半を終了。後半に入っても中京の走りのスピードは衰えず、竹園につけ入るスキを与えず押しきった。

横浜商工29（17－7、12－12）19岩国工

〔岩国〕	選手	得
GK	下宮	0
GK	岡本	0
FP	松本	3
FP	千葉	5
FP	松永	1
FP	藤本	8
FP	白石	1
FP	上村	0
FP	笹川	1
FP	稗田	0
FP	貫船	0
FP	金岡	0
計	PT (2)	19

〔横浜〕	選手	得
GK	糸井	0
GK	小泉	0
FP	五反田	8
FP	片桐	1
FP	土島	2
FP	小山	0
FP	呉座智	9
FP	小笠原	0
FP	中地	0
FP	呉座英	5
FP	中村	3
FP	馬場	1
計	PT (4)	29

（審・後藤、島田）

○…両チームの攻撃の違い、スピードの差が大差となって表われた。

前半の立ち上がり、両チーム共ミスが多くなかなか得点につながらなかったが、10分過ぎになると横浜のスピードに岩国のディフェンスがついていけなくなり、次第に点差が開いた。岩国はセット攻撃が今一つで、15分以降僅か2点しかあげられず、前半にして大差をつけられて勝負あった。岩国も後半よくがんばったが、前半の得点差をつけることは出来なかった。

▼準決勝

瓊浦39（21－11、18－12）23学法石川

○…開始早々瓊浦はスピード豊かな攻撃で矢つぎ早にシュートを決め主導権を握った。その後も瓊浦の手をゆるめず、セットではセンター池井が左右に鋭くゆさぶり、田中、末岡のアタッカーとポスト、サイドのコンビプレーでのチャンスを作り得点する形で点差を広げていった。学法石川も佐野のポストシュート、木戸のロングでゴールを割るのだが、いかんせん瓊浦の攻撃にディフェンスがついていけず、前半で21対11と大差をつけられ、勝敗を決してしまった。

〔学法〕	選手	得
GK	三宅	0
GK	先崎	0
FP	関根	0
FP	石川	4
FP	内田	1
FP	秋葉	1
FP	国井	0
FP	渡辺	0
FP	佐野宏	5
FP	木戸	8
FP	佐野文	3
FP	鈴木	1
計	PT (0)	23

〔瓊浦〕	選手	得
GK	高田	1
GK	高尾	0
FP	田中	13
FP	末岡	6
FP	猪野	2
FP	池井	8
FP	木下	4
FP	佐藤	0
FP	永田	0
FP	森	5
FP	町田	0
FP	岡部	0
計	PT (4)	39

（審・川島、森）

横浜商工21（6－9、15－9）18中京

〔中京〕	選手	得
GK	西井	0
GK	奥野	0
FP	大橋	4
FP	大澤	7
FP	三輪	2
FP	鹿島	3
FP	堀田	2
FP	安井	0
FP	平松	0
FP	永谷	0
FP	中嶋	0
FP	佐藤	0
計	PT (0)	18

〔横浜〕	選手	得
GK	糸井	0
GK	小泉	0
FP	五反田	3
FP	片桐	3
FP	土島	0
FP	小山	0
FP	呉座智	10
FP	小笠原	0
FP	中地	0
FP	呉座英	4
FP	中村	1
FP	馬場	0
計	PT (1)	21

（審・北山、奥田）

○…立ち上がり両チーム共動きが固く5分まで無得点。まず中京・大澤がロングを立て続けに3本決め中京ペース、横浜もスピードあるカットインから呉座のロング、ポストで得点。しかし、中京の素早いつめ、フォローの前にミスが出てそこを中京に速攻でつながれ9対6と中京リードで前半終了。後半も一進一退の攻防の続く中11分、中京に退場者が出る間に横浜が反撃、14対14の同点に追いつく。その後流れは横浜に傾き、14分、15分のペナルティ2本で逆転。以後も着実に加点、じりじりと引き離し逃げ切った。

双方共よくチームカラーを発揮したゲームであった。

▼決勝

横浜商工24（8－11、11－8、3－2、2－1）22瓊浦

〔瓊浦〕	選手	得
GK	高田	0
GK	高尾	0
FP	田中	7
FP	末岡	3
FP	猪野	0
FP	池井	4
FP	木下	3
FP	佐藤	0
FP	永田	0
FP	森	5
FP	町田	0
FP	岡部	0
計	PT (1)	22

〔横浜〕	選手	得
GK	糸井	0
GK	小泉	0
FP	五反田	4
FP	片桐	2
FP	土島	2
FP	小山	0
FP	呉座智	6
FP	小笠原	0
FP	中地	0
FP	呉座英	4
FP	中村	6
FP	馬場	0
計	PT (2)	24

（審・川島、森）

○…決勝にふさわしい一戦であった。

テンポの早い展開からポストへパスの横浜、スキあらばと縦の動きで走る瓊浦、前半は11対8と瓊浦は3点リード。後半に入り横浜・中村の元気一杯の動き、切れるフェイントで15分には17対16と逆転。その後まさしく一進一退の手に汗握る展開。残り40秒、1点をリードされた横浜ポストで同点に追いつき延長に。

流れは横浜で中村のフェイントでまずリード。瓊浦は横浜・呉座をマンツー、何とかリズムを崩そうとするが、呉座はその間隙を抜って素早くミドルシュートを決める。

延長前半22対21と1点リードした横浜は、後半は増々元気で、最後にゲームを決めたのは片桐のポストであった。

横浜商工の個人技が光った一戦であった。

延長の大熱戦を見せた決勝戦

高校生たちの熱き戦いの記録

女子 名短付 地元の大声援受けて初優勝飾る

▼1回戦

昭和学院（千葉） 11 〔6－0 / 5－4〕 4 暁（三重）

	〔暁〕	得
GK	野島	0
	山崎	0
FP	野田	0
	小林	0
	前田	0
	早川	0
	小田川	0
	菊川	1
	永峰	1
	中田	2
	丹羽	0
	矢野	0
PT	(0)	4

（審・斉藤、千野）

	〔昭和〕	得
GK	松本	0
FP	藤原	0
	石毛	1
	岡村	8
	高柳も	1
	宮内	1
	高柳ふ	0
	小林	0
	神谷	0
	安川	0
PT	(3)	11

○…前半、暁は昭和のエース・岡村にマンツーマンをつけ、昭和の攻撃のリズムを崩そうとするが、岡村の巧みなプレーにより6対0とリードを奪われる。後半に入り暁は、昭和の石毛、岡村に対する変則的なアタックディフェンスをかけリズムをつかみ、持ち前のスピードを生かした速攻で追撃するが、前半のリードを保った昭和が逃げ切った。

郡山女（福島） 14 〔7－4 / 7－6〕 10 山陽女（広島）

	〔山陽〕	得
GK	久保	0
	小林	0
FP	安部	3
	古本	2
	田中	0
	川井	0
	森	2
	坂本	2
	松前	1
	稲田	0
	橋本	0
	茶村	0
PT	(3)	10

（審・川島、森）

	〔郡山〕	得
GK	浜尾	0
FP	小川	1
	高橋	5
	大和田	0
	宗像	0
	小林	1
	大河内	0
	吉田	3
	曽根	2
	梅津	2
	斉藤	0
PT	(1)	14

○…前半立ち上がり両チーム共固さが見られ、シュートミスが続いた。しかし、山陽女が3対1とリード。10分過ぎから山陽女の攻撃のリズムが崩れ、郡山女が徐々に調子をつかんで逆転、7対4と前半をリード。後半に入っても郡山女の動きが良く、カットインからのシュートを立て続けに決め、終盤の山陽女の追撃をふり切って勝った。

水海道二（茨城） 17 〔7－4 / 10－6〕 10 有磯（富山）

	〔有機〕	得
GK	北山	0
	坂	0
FP	谷内	0
	飯山	1
	小久保	1
	庄司	3
	中橋	2
	中村	1
	谷内	0
	道渕	0
	向柴	2
	野畑	0
PT	(1)	10

（審・岩本、板倉）

	〔水海道〕	得
GK	近沢	0
	篠崎	0
FP	遠藤	0
	磯山	10
	鈴木	0
	中屋敷	0
	山岸	3
	小沼	3
	小林	0
	小田中	1
	鈴木	0
	高野	0
PT	(1)	17

○…水海道二は磯山を中心にパワーハンド、有磯は庄司を中心にローリングハンドでゲームが展開された。前半8分過ぎ、有磯は水海道二の磯山にマンツーマンディフェンスをしいたが、水海道二は山岸、小沼のパワフルシュートに振り回された。後半フリーになった水海道二の磯山は連続4本のカットイン、ロングシュートを決めてほぼ勝負を決めた。

熊本女（熊本） 22 〔13－1 / 9－6〕 7 函館女（北海道南）

	〔函館〕	得
GK	吉田	0
FP	佐藤敏	4
	新山	1
	秋田	1
	高松	0
	佐藤美	0
	福井	0
	鳥潟	1
	越後屋	0
	井戸	0
	川越	0
PT	(3)	7

（審・徳前、旅）

	〔熊本〕	得
GK	清田	0
FP	村橋	2
	林田	3
	中山	5
	斉藤	1
	田野辺	3
	土本	4
	石井	2
	河上	0
	河野	1
	内田	1
PT	(2)	22

○…立ち上がり、熊本女がステップ、ポスト、速攻で3点を連取、函館女をローリングクロスからの攻撃でロングで返すが、熊本女が速攻などで着々と加点、前半で大差をつけて勝負を決めた。

小松市女（石川） 26 〔15－4 / 11－4〕 8 国学院栃木（栃木）

	〔国学院〕	得
GK	佐藤	0
	相田	0
FP	大間	2
	臼井	0
	新井	4
	岡田	1
	伊東	1
	平野	0
	神長	0
	小島	0
	川田	0
	吉田	0
PT	(1)	8

（審・板倉、岩本）

	〔小松〕	得
GK	川北	0
	木戸	0
FP	野田	2
	木村	5
	林	7
	上田	0
	松田	7
	池田	1
	桜井	1
	奥村	3
	千秋	0
	今	0
PT	(2)	26

○…小松が立ち上がりから林、松田の1年生コンビが着実に得点しリズムをつかみ、その後もスピードあふれる攻撃でリードを広げる。後半に入り国学院は大間を中心にポストプレー、カットインとチャンスをうかがうが攻守に勝る小松が大差をつけ勝負を決めた。

筑紫女（福岡） 19 〔5－8 / 8－5 / 3－2 / 3－0〕 15 夙川学院（兵庫）

○…前半は両チーム共ミスが多く、10分間は五分五分であったが夙川の大砲・塩崎の1人で7得点をあげる活躍で8対5と夙川が前半をリード。後半も出足は五分五分だったが、10分過ぎから筑紫の速攻が出始め13分過ぎには1点差、そして19分にはようやく同点に追いつき延長戦になった。

延長戦は、後半からムードの盛

〔夙川〕

	選手	得
GK	中川	0
GK	大垣	0
FP	真鍋	0
FP	塩崎	8
FP	溝田	0
FP	高木	0
FP	長村	3
FP	前川	3
FP	森下	1
FP	松田	0
FP	林	0
FP	久野	0
	PT (2)	15

〔審・後藤、島田〕

〔筑紫〕

	選手	得
GK	肥川	0
GK	池田	0
FP	吉村	0
FP	高原	4
FP	小田	5
FP	吉岡	1
FP	南里	0
FP	横瀬	2
FP	藤	6
FP	青柳	1
FP	柴田	0
FP	森塚	0
	PT (3)	19

り上がった筑紫が、サイド、ポストを立て続けに決めて熱戦に終止符を打った。

藤村女（東京） 26 〔16－4、10－2〕 6 釧路湖陵（北海道）

〔湖陵〕

	選手	得
GK	金子	0
GK	菅原	0
FP	小川	0
FP	尾田	2
FP	四十栄	1
FP	小山	0
FP	内田	1
FP	藤岡	0
FP	早坂	2
FP	今井	0
FP	中里	0
FP	鶴島	0
	PT (0)	6

〔審・秋永、丹田〕

〔藤村〕

	選手	得
GK	田口	0
GK	市川	0
FP	大高	3
FP	佐藤	4
FP	川上	6
FP	佐伯	2
FP	羽鳥	5
FP	斉藤	3
FP	阿保	0
FP	井出	0
FP	竹野	0
FP	田鹿	3
	PT (5)	26

○…立ち上がり固さの残る藤村女であったが、2分、釧路のミスから速攻で得点、徐々に藤村のペースとなる。

その後、走力に勝る藤村はいろいろなプレーをおりまぜ、10分までに7連続得点をあげるという快心のペース、まさに余裕を持った試合運びであった。

後半になっても藤村のペースは崩れず着実に点を伸ばし、釧路を破った。

本巣（岐阜） 16 〔5－7、7－5、3－0、1－2〕 14 今治南（愛媛）

〔今治南〕

	選手	得
GK	馬越	0
GK	関野	0
FP	岩見	1
FP	宮武	1
FP	岸下	1
FP	松浦	2
FP	吉本	3
FP	長谷部	6
FP	渡辺	0
FP	越智美	0
FP	村上	0
FP	越智温	0
	PT (0)	14

〔審・北山、奥田〕

〔本巣〕

	選手	得
GK	汲田	0
GK	杉山	0
FP	梶野	8
FP	若山	1
FP	馬渕	3
FP	高橋	0
FP	古田	0
FP	青山	1
FP	大井	2
FP	鷲見	1
FP	加納	0
FP	馬渕	0
	PT (5)	16

○…3分に今治南が先制、しかしその後両チーム共なかなか得点を積み重ねることが出来ない。いったんは本巣がリードするが、再び今治南が逆転、7対5で前半を終了。後半に入り本巣は5分には同点にする。その後一進一退の展開となり結局12対12で終了。

延長前半、本巣は梶野のステップシュート、馬渕のポストプレーで得点、15対12とリード、後半も今治の追撃をかわして逃げ切った。

大曲農（秋田） 14 〔3－7、11－5〕 12 佐世保北（長崎）

〔佐世保〕

	選手	得
GK	平原	0
GK	森	0
FP	池田	5
FP	阿部	2
FP	樫山	0
FP	新良	3
FP	田中	2
FP	金氏	0
FP	益田	0
FP	黒岩	0
FP	長嶋	0
FP	森宗	0
	PT (1)	12

〔審・秋永、丹田〕

〔大曲農〕

	選手	得
GK	大山	0
GK	加賀	0
FP	高田	0
FP	新田	9
FP	鈴木	2
FP	青谷	0
FP	佐藤	0
FP	三浦	2
FP	星宮	0
FP	千田	1
FP	畑山	0
FP	松塚	0
	PT (3)	14

○…開始5分、佐世保北は速攻で先制。その後も着実に得点を重ね優位に立つ。大曲も反撃するがミスが多くリズムに乗れぬまま前半を終了。後半開始早々、大曲は新田の気迫のこもったロングシュート、カットインにより活気づき試合の流れは一変、10分には同点に追いつく。その後は両チーム共1点を争うゲーム展開となったが、残り4分、大曲は新田、青谷の連続得点で佐世保をふり切った。

▼2回戦

昭和学院星 16 〔8－2、8－4〕 6 高松商（香川）

〔高松商〕

	選手	得
GK	真鍋	0
GK	鎌田	0
FP	高藤	0
FP	桃本	0
FP	原田	2
FP	福崎	1
FP	川田	0
FP	赤根	0
FP	橘	0
FP	佐伯	0
FP	佐々木	0
FP	木村	3
	PT (1)	6

〔審・工藤、川合〕

〔昭和〕

	選手	得
GK	松丸	0
FP	藤原	0
FP	石毛	2
FP	岡村	11
FP	高柳も	1
FP	宮内	1
FP	高柳ふ	0
FP	小林	1
FP	神谷	0
FP	安川	0
	PT (3)	16

○…両チーム共小柄ながら攻守のまとまりのあるよく似たチームカラーである。試合は3分過ぎ高松商が速攻で先制。しかし、昭和は6分に同点にするとその後着実に加点。高松商は初戦のためか固さが見られ、8対2と大きくリードを許して前半を終了。後半に入って高松商はやや持ち直した感があったが、終始岡村を中心とする昭和のスピード豊かな攻撃に押されて敗れた。

四天王寺（大阪） 19 〔12－4、7－6〕 10 郡山女

〔郡山〕

	選手	得
GK	永井	0
GK	浜尾	0
FP	小川	1
FP	高橋	3
FP	大和田	0
FP	宗像	0
FP	小林	3
FP	大河内	0
FP	吉田	0
FP	曽部	3
FP	梅津	0
FP	斉藤	0
	PT (1)	10

〔審・大橋、久保田〕

〔四天王寺〕

	選手	得
GK	岡本	0
GK	味志	0
FP	市来	6
FP	奥本	1
FP	岸上	1
FP	白鳥	4
FP	中谷	0
FP	牧村	2
FP	岡本	2
FP	鹿島	0
FP	篠原	3
FP	中筋	0
	PT (4)	19

○…前半スタートから両チーム共激しい攻防をくり広げたが、4分過ぎスピードに勝る四天王寺が立て続けに得点。また、キャプテン市来の好リードにより多彩な攻撃で郡山女のディフェンスをゆさぶった。郡山も懸命に反撃するが四天王寺の堅いディフェンスに阻まれ、12対4と大差をつけられ前半を終了。後半も郡山は追い上げたが、スピード、総合力で勝る四天王寺が終始リードを続け快勝した。

彦根商（滋賀） 13 〔9－4、4－7〕 11 水海道二

〔水海道〕

	選手	得
GK	近沢	0
GK	篠崎	0
FP	遠山	0
FP	磯山	4
FP	鈴木弘	1
FP	中屋敷	0
FP	山岸	2
FP	小沼	3
FP	小林	1
FP	田中	0
FP	鈴木理	0
FP	高野	0
	PT (1)	11

〔審・斉藤、千野〕

〔彦根〕

	選手	得
GK	北川幸	0
GK	田中	0
FP	長屋	2
FP	中西	4
FP	木瀬	3
FP	島田	0
FP	松宮	3
FP	松田	0
FP	大矢	0
FP	又川	1
FP	北川裕	0
FP	滝	0
	PT (2)	13

○…磯山を中心に大型チームの

水海道二と攻守のバランスのとれた彦根商の対戦。前半の立ち上がりは両チーム共持ち味を出して互角のスタートであったが、5分過ぎあたりからスピード、ディフェンスに勝る彦根商が中西、木瀬、松宮のタイミングの良いシュートで得点を重ね、ディフェンスにおいても速い前へのつめで水海道二にロングシュートを打たせずじりじりと点差を広げ、前半を9対4で終わる。

後半は水海道二がよく粘り、終了5分前には彦根商に退場者が出たチャンスに速攻などで連続4得点をあげ2点差まで追い上げたが、前半の不調が響き、13対11で彦根商が逃げ切った。

名短付（愛知） 18（9—5、9—8）13 熊本女商

	〔熊本〕	得	〔名短付〕	得
GK	清田	0	三浦葉	0
			村山	0
FP	村橋	1	安田	1
	林田	1	山下	9
	中山	2	三浦優	2
	斉藤	7	伊豫田	4
	田野辺	2	村上	1
	土本	0	河淵	1
	石井	0	丹羽	0
	河上	0	栗田	0
	河野	0	藤田	0
	内田	0		
PT	(0)	13	(2)	18

（審・旅　徳前）

○…両チーム共幸先良くジャンプシュートを1本づつ決めたが、固さの見られる熊本女商は名短付のバラエティーに富んだ攻撃の前に10分過ぎまで守るばかりであった。その後、ペースを取り戻したものの9対5。前半を終った。後半に入って35秒、熊本女商・中山がステップシュートで得点をあげペースに乗るかにみえたが、名短付の立て続け2本の速攻で点差を広げられた。中盤を過ぎて熊本女商は斉藤のロングシュートをはじめとして追いすがったものの、前半序盤の点差がひびいて18対13で試合を終った。

小松女商 13（8—3、5—6）9 市邨学園（愛知）

	〔市邨〕	得	〔小松〕	得
GK	蒔田	0	川北	0
	小坂井	0	木戸	0
FP	佐藤	3	野田	2
	富広里	2	木村	2
	中山	0	林	4
	樅山	2	上田	0
	富広晃	1	松田	3
	辻	0	池田	0
	藪崎	1	桜井	0
	水野	0	奥村	2
	磯村	0	千秋	0
			今	0
PT	(2)	9	(4)	13

（審・辻　国府）

○…市邨は立ち上がりから小松の林にマンツーをつけ追熱した攻防で始まった。両者共にポストプレー中心の攻撃であったが、よく守りなかなか得点につながらない。しかし切れのいいカットインを使う小松は、5分過ぎより相手の反則を誘い、6分、9分とペナルティスローを決め、徐々に小松ペースへと持っていった。後半に入り小松のスピードに慣れて来た市邨は、守りから速攻が決まりはじめポストプレーなどをまぜ少しづつ差を縮めていった。しかし、シュート力、スピードに勝る小松が結局13対9で市邨を破った。

徳山商（山口） 17（7—4、10—6）10 筑紫女

	〔筑紫〕	得	〔徳山〕	得
GK	肥川	0	徳永	0
	池田	0	鶴本	0
FP	吉村	0	小池	6
	高原	1	田村	4
	小田	4	堀田	0
	吉岡	0	佐野	0
	南里	0	福田	3
	横瀬	4	渡辺	4
	藤	1	久行	0
	青柳	0	貞本	0
	柴田	0	和田	0
	森塚	0	原田	0
PT	(0)	10	(0)	17

（審・後藤　島田）

○…両チーム共激しいディフェンスのつめでなかなか得点することが出来ない。15分まで一進一退の攻防。前半残り3分、徳山商は相手のシュートミスから速攻を続けて決め7対4とリードで前半を終了。

後半に入り徳山商・小池のシュートが立て続けに決まり出しペースをつかんだ。筑紫女は徳山商の早いつめにあい思うように得点出来ない。その間にも徳山商は着実に得点を重ねた。

藤村女 12（5—4、7—2）6 本巣

	〔本巣〕	得	〔藤村〕	得
GK	汲田	0	田口	0
	杉山	0	市川	0
FP	梶野	5	大高	6
	若山	0	佐藤	0
	馬渕加	1	川上	0
	高橋	0	佐伯	2
	古田	0	羽鳥	2
	青山	0	斉藤	2
	大井	0	阿保	0
	鷲見	0	井出	0
	加納	0	竹野	0
	馬渕恵	0	田鹿	0
PT	(3)	6	(0)	12

（審・秋永　丹田）

○…立ち上がり本巣は連続ペナルティスローを誘い先行。しかし中盤相手の攻撃パターンを読み出した藤村が逆転、1点をリードして前半を終了。後半に入ると藤村のディフェンスを本巣は攻め切れず、逆に退場者を出し、藤村が連続得点をあげて点差を広げそのまま逃げ切った。

大曲農 14（6—3、8—3）6 東宇治（京都）

	〔東宇治〕	得	〔大曲〕	得
GK	荒賀	0	大山	0
	室田	0	加賀	0
FP	正木	0	高田	1
	伊藤	1	新田	9
	臼井	3	鈴木	0
	長谷部	1	青谷	1
	長谷川	0	佐藤	0
	田中	1	三浦	1
	真庭	0	星宮	1
	平岡	0	千田	0
	榊原	0	畑山	1
	澤	0	松塚	0
PT	(2)	6	(6)	14

（審・旅　徳前）

○…立ち上がり東宇治が速攻で先行したが、大曲のディフェンスがよくなかなか加点出来ない。一方大曲は新田のシュートがよく決まり、前半を6対3で終了した。後半も大曲は連続ペナルティスローを確実に決めて試合の主導権を握った。その後も地力に勝る大曲が着々と加点し14対6で試合を終った。

▼3回戦

四天王寺 12（5—4、7—7）11 昭和学院

○…前半固さの目立つ昭和に対して四天王寺は伸び伸びと自分たちのペースでゲームを進めた。昭和・岡村をマンツーマンで攻撃リズムを崩した四天王寺が前半を1点リード。後半に入って動きの出てきた昭和と前半同様によく動いている四天王寺とで一進一退の1点を争う好ゲームとなり、手に汗握る展開を見せたが、四天王寺が1点差を守り逃げ切った。

	〔昭和〕	得	〔四天王寺〕	得
GK	松丸	0	岡本	0
	宮本	0	味志	0
FP	藤原	0	市来	3
	平野	0	奥本	0
	石毛	2	岸上	0
	岡村	8	白鳥	4
	高柳も	0	中谷	0
	宮内	0	牧村	2
	高柳ふ	0	岡村	0
	小林	0	鹿島	0
	神谷	1	篠原	3
	安川	0	中筋	0
PT	(2)	11	(2)	12

（審・工藤　川合）

名短付 18（9—6、9—4）10 彦根商

	〔彦根〕	得	〔名短付〕	得
GK	北川幸	0	三浦葉	0
	田中	0	村山	0
FP	長屋	0	安田	0
	中西	3	山下	4
	木瀬	3	三浦優	7
	島田	0	伊豫田	3
	松宮	2	村上	1
	松田	0	河淵	2
	大矢	0	丹羽	0
	又川	2	栗田	1
	北川裕	0	藤田	0
	滝	0		
PT	(2)	10	(1)	18

（審・中根　秋山）

○…名短付は三浦を中心にロングで着々と加点をする。対する彦根商は木瀬の思い切りのいいスタンディングで得点する。前半はGKの好守もあって名短付が9対6とリード。後半に入り彦根商は名短付・三浦にマンツーマンで反撃を狙うが、なかなか得点をあげられず、逆に名短付は着実に加点し

て、18対10と力の差を見せて勝った。

小松市女20（11−5 / 9−4）9徳山商

	〔徳山〕	得	〔小松〕	得
GK	徳永	0	川北	0
GK	鶴本	0	木戸	0
FP	小池	2	野田	3
FP	田村	3	木村	0
FP	堀田	0	林	9
FP	佐野	1	上田	1
FP	福田	0	松田	2
FP	渡辺	0	池田	0
FP	久行	2	桜井	3
FP	貞本	1	奥村	2
FP	和田	0	千秋	0
FP	原田	0	今	0
		9		20
PT		(2)		(3)

（審・斉藤 千野）

○…先取点は小松。フリースローを林からポストの松田へとつないでペナルティを得、林がこれを決める。続けて桜井のカットイン、松田のサイドが決まり小松のペースでゲームは進められた。徳山商は、守りでは林に対してマンツーマンで、攻撃では強打の小池を中心に反撃に出ようとするが、小松の堅いディフェンスを崩すには至らない。ただ、速攻などによく鍛えられている印象は見られた。試合は、終盤やや大味なものになったが、総合力で勝る小松市女が安定した試合運びで勝利を収めた。

藤村女19（9−7 / 10−3）10大曲農

○…大曲農は、男子顔負けのロングヒッター新田が、開始早々ロングシュートを2本叩きこんだ。しかし、それ以後藤村GK田口の好守に阻まれ得点することが出来ない。一方、藤村は斉藤のサイドシュート、速攻が面白いように決まり1人で前半5点をとった。一進一退の攻防をくり広げるが、速い攻撃の藤村が2点リードして前半を終了した。

	〔大曲〕	得	〔藤村〕	得
GK	大山	0	田口	0
GK	加賀	0	市川	0
FP	高田	2	大高	5
FP	新田	3	佐藤	3
FP	鈴木	0	川上	2
FP	青谷	1	佐伯	1
FP	佐藤	0	羽鳥	1
FP	三浦	2	斉藤	6
FP	星宮	0	阿保	0
FP	千田	2	井出	0
FP	畑山	0	竹野	0
FP	松塚	0	田鹿	1
		10		19
PT		(0)		(1)

（審・徳前 旅）

後半に入って両チーム共速い攻防が続いたが、得点チャンスを確実にものにした藤村のペースになった。大曲は藤村の速いつめのディフェンスに、思うようにシュートが打てずペースを乱しミスが多くなっていた。その間にも藤村は速攻などで得点を重ね19対10で藤村が快勝した。

▼準決勝

名短付19（6−9 / 13−9）18四天王寺

	〔四天王寺〕	得	〔名短付〕	得
GK	岡本	0	三浦葉	0
GK	味志	0	村山	0
FP	市来	6	安田	4
FP	奥本	0	山下	4
FP	岸上	0	三浦優	2
FP	白鳥	3	伊豫田	3
FP	中谷	0	村上	2
FP	牧村	5	河淵	4
FP	岡村	2	丹羽	0
FP	鹿児	0	栗田	0
FP	篠原	2	藤田	0
FP	中筋	0		
		18		19
PT		(0)		(2)

（審・斉藤 千野）

○…立ち上がり両チーム共固さがとれなかったが、3分過ぎ四天王寺・牧村のシュートから得点が動き出した。名短付は四天王寺・白鳥のシュートをマークして四天王寺の攻撃を封じ、また、相手の荒いディフェンスをスピードでかわして6対3とリード。その後両チーム共得点が入らず、12分過ぎ四天王寺の篠原が退場、岸上に警告とディフェンスに荒さが表われたが、名短付はリズムに乗れず、逆に四天王寺は4連続得点で逆転して前半終了。

後半10分過ぎまで得点のとり合いになり、両チームの差はそのままであった。しかし、四天王寺にディフェンスの荒さがまた表われ次々と退場者を出してしまい試合のリズムは名短付に傾いたまま。残り2分で同点に追いつき1分20秒で逆転、後はそのままリードを保って試合終了。

小松市女15（4−7 / 11−2）9藤村女

	〔藤村〕	得	〔小松〕	得
GK	田口	0	川北	0
GK	市川	0	木戸	0
FP	大高	3	野田	4
FP	佐藤	2	木村	3
FP	川上	1	林	4
FP	佐伯	0	上田	0
FP	羽鳥	0	松田	2
FP	斉藤	2	池田	0
FP	阿保	0	桜井	1
FP	井出	0	奥村	1
FP	竹野	0	千秋	0
FP	田鹿	1	今	0
		9		15
PT		(0)		(1)

（審・細井 永田）

○…前半10分まで小松はエースの林がロングシュートを多投するが藤村GK田口にことごとくはじき返されなかなか得点出来ない。藤村はGKの好守によりペースをつかみ、速攻、ロングシュートと着々と得点、5対1とリードした。しかし、小松は粘りのディフェンスから徐々にペースをつかみ、じりじりと点差を縮め5対4まで追いついた。前半残り時間2分、藤村はペナルティスローで得点し、7対4と藤村リードで前半終了。

後半に入って小松は立て続けにペナルティスローを3本得るが、藤村GKに2本はじかれ今一歩調子に乗れない。しかし、小松は持ち前の粘りのあるディフェンスで我慢し、徐々に点差を縮めてゆき残り10分ようやく同点に追いついた。これでゲームは小松ペースに傾き、小松のエース・林のロングシュートが入り始め逆転した。

▼決勝

名短付11（5−4 / 6−5）9小松市女

○…先制点を小松・林がフリースローからのロングシュートであげると、それに対し名短付もすぐに伊豫田がサイドから回り込んでのミドルシュートを決め同点に追いつく。10分過ぎまで互いのエースを中心に攻防がくり広げられるがともに譲らない。小松は野田のカットイン、松田の速攻、ポスト、名短付は伊豫田のサイド、三浦のロング、丹羽の速攻で加点し名短付の1点リードで前半を終了する。

地元の声援に応えた名短付

	〔小松〕	得	〔名短付〕	得
GK	川北	0	三浦葉	0
GK	木戸	0	村山	0
FP	野田	2	安田	1
FP	木村	2	山下	3
FP	林	2	三浦優	3
FP	上田	0	伊豫田	1
FP	松田	3	村上	2
FP	池田	0	河淵	1
FP	桜井	0	丹羽	0
FP	奥村	0	栗田	0
FP	千秋	0	藤田	0
FP	今	0		
		9		11
PT		(0)		(1)

（審・後藤 島田）

後半に入ると、名短付がロング、ステップと立て続けに外からのシュートで差を広げる。小松が速攻で1点を返すが、すぐに名短付もペナルティを誘い、またサイドからも続けて決め4点差。もうダメかと思われた小松は粘り速攻を3本決め1点差、勝負は最後の2分半に持ち込まれた。ここでインターセプトをあせった小松ディフェンスのスキをつき名短付がポストプレーで加点、さらに気落ちした小松を突き放すかのように山下のステップが決まり3点差。小松も終了間際エース林がロングシュートを決めるが、残念ながら遅過ぎた。徹底した林マークが功を奏した名短付が地元に栄光をもたらした。

全日本男子ジュニア・ヨーロッパ遠征報告

自らの身体で世界を知る

次代を背負う若者の貴重な初体験

全日本男子ジュニアチームは、3月4日から21日までの18日間、ユーゴ、西ドイツなどヨーロッパ遠征を行なった。

この遠征では、ユーゴで5試合、オーストリアで1試合、西ドイツで3試合と通算9試合を戦い、3勝6敗という成績をあげた。また、この遠征では、大きな外人選手に対しての戦い方、特にディフェンスの仕方を実地に体験、選手個人個人に身体で覚えてもらおうというねらいで実施された遠征であり、次代の日本ハンドボール界を担うジュニアの選手諸君にとって貴重な体験となったことだろう。

ここに遠征メンバーと成績、そして本田監督の報告と、遠征に参加した選手たちが提出してくれた報告文の中から二つを掲載させてもらいました。

〈ヨーロッパ遠征参加メンバー〉

◈監　督　　本田　洋
◈コーチ　　早川清孝
◈選　手
▶ＧＫ①秋吉哲男（19・大同特殊鋼）
⑫橋本行弘（19・本田技研鈴鹿）
⑯高橋克己（18・氷見高校）
▶ＦＰ②藤井孝一（21・法政大学）
③武田大伸（20・日本大学）
④名取和成（20・大同特殊鋼）
⑤今村伸吾（20・中部大学）
⑥首藤信一（20・大崎電気）
⑧上山和弘（19・日鉄建材）
⑨橋本二次夫（19・日本体育大学）
⑩甲斐章義（18・久留米工大附属高校）
⑪滝沢　勝（18・浦和実業学園高校）
⑬野田祐一（20・筑波大学）
⑭新井友彦（18・浦和実業学園高校）
⑮坂口俊幸（18・下松工業高校）
⑰斎藤成行（19・国士館大学）

◈遠征／日程・成績

◆3月4日（成田出発）
◆3月5日（フランクフルトからユーゴ・ザクレブへ）
◆3月6日（ユーゴ・ツァコベッツ）
ズリンスキー 34（18 16－15 11）26 全日本ジュニア
◆3月8日（ユーゴ・バラジュディン）
バルトュエクス 33（14 19－9 14）23 全日本ジュニア
◆3月10日（バラジュディン）
全日本ジュニア 28（13 15－11 12）23 イバンチツァ
◆3月12日（ユーゴ・マリボル）
マリボル 31（18 13－17 12）29 全日本ジュニア
◆3月13日（オーストリア）
ワグナーバイロ 37（20 17－15 15）30 全日本ジュニア
◆3月14日（ユーゴ・スベロニア・グラデッツ）
パルチザン 33（14 19－18 14）32 全日本ジュニア
◆3月16日（西ドイツ・フランクフルト）
全日本ジュニア 27（13 14－6 8）14 マーゲントハイム
◆3月17日（西ドイツ・ヘッペンハイム）
全日本ジュニア 19（13 6－8 10）18 ヘッペンハイム
◆3月19日（西ドイツ・ホルツハイム）
ホルツハイム 28（16 12－12 12）24 全日本ジュニア
◆3月20日（西ドイツ発）
◆3月21日（成田着）

監督・本田　洋

今年度12月、イタリアにおいて世界ジュニア男子選手権大会が行なわれる。世界の動向はジュニア強化を重大視して10年、ジュニア強化イコールナショナル強化である。新興国においては、ジュニアイコールナショナルであり、近年栄えるアジア、アフリカが世界の⅓を占めてきている。本大会への出場権を獲得するには、アジアを制する体制と養成が肝要です。

選手の養成は高校界にあり、一国一城の主たらんとする高校界の指導者が多く、高校界において優秀な選手が抱く「ハンドボール観」は、育て親である指導者、監督の「ハンドボール観」を脱し得ない現状である。世界に通用する選手養成には遠い現状であると言わざるを得ない。

今度の遠征の目的は、世界のハンドボールを選手自身が身をもって肌で感じ、内にあるハンドボール観を根底から崩し、新たに組み立て上げさせることにあり、自らの体験を事実とし、そこから再出発させようというねらいをもって臨んだ。

百聞は一見にしかず、時代の先端を走るジュニア層の選手たち自身が自ら作り上げてゆく環境を世界の場に求め、選手自身が自ら自分のカラを破って出ようとする力に叱咤激励するのが私たちの仕事と考える。

自らが血のにじむような苦しみに耐え、精神的にもあきらめや落ち込みの中をはいずり回りながら「自分にとってハンドボールとは何か」という問いかけを何度もくり返しながらこそ世界を制する人間に生まれ変ってゆけるものと確信する。

選手生活の中で一番エネルギーがあり意欲の湧き出る時期、これがジュニア層にいる時期であり、この時期こそ世界への「刷り込み」が必要であり、情熱の燃える時期に鍛えられて練られてこそ国の代表となるナショナル選手が生まれるものであろう。

ものの考え方としての国民性というものは、その国あるいは民族が歴史的にどういう気候風土と食糧獲得法と他民族との抗争の中で

生き抜いてきたかによって、それぞれ必然性をもって形成されたものであろう。

外国の考え方を見下したり、特異視したりするようなおごったものの見方に陥ることなく、事実を事実として見て、自らの特異性を認識してほしいと。

こうした願いをこめて今回の遠征先をユーゴ、西ドイツに目を向けて「防禦」を目標にして臨みました。

〔遠征で学んだこと〕

ディフェンスについて

名取和成

ユーゴ、西ドイツの遠征を終えディフェンスについて、日本のディフェンスと違う所が多数あった。

外国のディフェンスは、6人全員がボールによって2人で1人をマークするといったディフェンスのやり方だが、ぼくらのディフェンスは1対1の形なので、フェイントで抜かれるとフォローが遅いためパワーでもっていかれたのがとても多かった。シューターに対しては前に詰めるのがきまりだが、9mまで詰めても10m位の所からシュートを打たれるとどうにもならず、得点されてしまう。そのため、それ以上前に詰めると今度は後ろに下がるのが遅いため、ポストに自由にボールを通されてしまうといった感じだった。

しかし、ユーゴで1、2、3ディフェンスを教えてもらった後のディフェンスは、前よりもずっと良くなったと思う。それは、6人全員がボールにより2人で1人をマークする形になり、シューターに対しては前に詰め、そのあいた所には隣りの人が入るというようになった。

1、2、3ディフェンスで教えてもらったことは、サイド、センターは左右のフットワーク、45度は前後のフットワーク、トップはボールの行った方による。

全員がボールを中心としたフットワークなどだが、サイドに関しては、前に詰めた方がいいような気がした。

左右、前後のフットワークを早くし、シューターに対しては片手は体、もう片手はきき腕を押さえるという形でもっと激しくボディーチェックをする。あとは声で両側の人と連絡し合う。特にサイドは全部を見渡せるので、逆サイドまで聞こえるくらい大きな声を出すようにする。

もっとディフェンスのコンビをとるような6対6の練習をしたらいいと思う。

キーピングについて

橋本行弘

ユーゴ、西ドイツ遠征を体験して学ぶべき多くのことを見つけたと思う。背丈、パワー、スピード、テクニック、すべてのいずれもが日本人より秀れている外人に対してどのように防御するかが、今回の遠征の課題としてあげられていた。自分はGKなのでFPの防御については知識があまりないので、ここではGKのキーピングに関して感じたことを書いてみたい。

まず外人のシュートに対する位置取りの問題である。外人は身長も高く、手も長く、その上パワーはものすごいものがある。これに対し日本人は、身長も手の長さもパワーも外人よりも劣っているといえると思う。この問題を克服するためには、良い位置取り、防御できる位置取りが必要になってくる。

自分は、ポストシュートなどに対する位置取りが巧くできず、得点を許したケースが多くあったように思う。今まで日本ではポストシュートに対して、シューターの正面への詰めだけを自分はやってきた。しかし、外人に対しては、シューターの正面ではなくシューターの持ったボールの正面に詰めないかぎりシュートは防ぐことはできないと思う。

紙に書いて説明するだけなら簡単なこの詰めも、いざやってみるとなかなかできないものだ。試合以外のトレーニングの時にこの詰めを練習してみたが、ボールの正面に詰めるということは、まずシューターが右ききなのか左ききなのかを先に知っておく必要があると思う。右ききのシューターなら右手へ、左ききのシューターなら左手への詰めが大切だ。右ききのシューターなのに左手に詰めていたのでは、シュートはいつまでたっても止められない。

また、右ききのシューターの右手に詰めたつもりでもシューターの右手を伸ばした状態とそうではない状態でも詰めの位置取りは変ってくると思う。

また、味方の守りが手や体でシュートのシュートコースをつぶした時の位置取り。シューターが体を横に倒してシュートしてきた時の位置取り。まだまだ多くのケースが考えられる。これらのケースに対応できる能力が今現在の自分に果たしてあるだろうか? 情けない話だがそのすべての場合に対応できる能力はない。でも少しでも完璧に近づけていくことはできる。それには練習が必要だ。

特別寄稿

アメリカで学んだこと これからの体力トレーニングを考える

連載2

渡辺慶寿

USLA Mr. Eluin "Ducky" Drake とアメリカンフットボール選手と

ご存知のように、USLA は UCA と並んでロサンゼルスでは大きな大学で、学生数も3万人を数える。この大学では、アメリカンフットボール、バスケットボール等、スポーツが盛んであり、プロの選手を多く出している。施設も、日本では考えられない大きな体育館をもっている（ロサンゼルス・オリンピックの体操会場）。スポーツと医学が密着され、体力トレーニング場と隣接して、けがの予防、処置治療に関連する施設があり、非常勤ではあるが、内科、外科等の医師がいることは、うらやましいかぎりである。

USLA の全日程は、先きにも紹介した Dr. Watanabe のアレンジによるものである。氏は整形外科の医師である。現在58歳であるが、自ら、忙しい日程をさいてトレーニングに余念がない。昨年は52歳の男性を手術して、1週間後には走らせたという。しかも、この男性は100mを12秒台で走ったという。いかに積極的な治療をしたかがうかがえる。

氏の紹介で、USLA のレッスンは、80歳になる。Mr Elvin "Ducky" Drake により受けることができた。氏は多くのすばらしい陸上競技の選手を世に送り出した。現在のロサンゼルス市長も彼の指導をあおいだ一人である。氏の部屋は、数々の賞や記念品で満ちていた。氏が亡きあとは、恐らく USLA の陸上競技場は氏の名がつくであろうとまでいわれている。

このような指導者に指導を受けたことは、身にあまる光栄であった。

Mr. Elvin "Ducky" Drake は、USLA を退職して嘱託として今も元気でトレーニングコンサルタントとして活躍されている。

これから紹介する USLA の体力トレーニングプログラムは、strength and conditioning Coch の Mr. John H. Arce によるものであり、USLA のスポーツ選手のコンディショニングは、全て彼の処方によるものである。滞在の1日を彼の指導をも受けることができたが、彼の書いたアメリカンフットボールの体力トレーニング処方を贈られたので、ここに紹介することにする。

信ずる十活動＝成功
(BELIEF ＋ ACTION ＝ SUCCESS)

競技の成績をあげることは、まず身心両面のトレーニングを積むことが大切である。実行をしないで、信じてばかりいても効果はあがらない。従って、力、パワー、持久性を最大にあげることが、成功につながる。

競技の調整計画

I. 実際の計画

A 競技者の身体状態

競技者の検査、テスト、測定によってからだの強弱を知る。この競技者の限界や特性を知ることによって、競技者のトレーニングの方法を決定する。

B 競技者の体力の特性

1 筋力、2 持久力、3 柔軟性、4 スピード、5 パワー、6 敏捷性、7 心臓機能、8 自覚表状、10 精神力

C トレーニングの目的意識

トレーニングは、短い期間では、効果はあがらない。従って、長期間の実践により効果があがることを理解すべきである。また、トレーニングは技術をようする。実践技術を完全に理解することが向上につながる。体力トレーニングの目的や方法を理解したうえで始めるべきである。

D からだの発達の段階的進行

実施能力をあげるためには、現在からだの欠陥をなおす希望をもつことが大切である。自己を現在以上に発展させるためには、自分のからだの能力でのことを行なう必要がある。また、からだが新しい負荷になれるまでは、正確に行なう必要がある。より能力を身につけたいならば、負荷をより一層多くする必要がある。

E 競技者の適用

競技者は、からだの特性を変えていくことによって実際に使用することが必要である。また、自分の可能性を知ることによって効果があがる。スピード、力、パワー

等を養成することによって、体力が技術向上につながる。すなわち体力は競技力に発展する。

Ⅱ　プログラムの構成

A　個人的特性

UCLA にいる限り、個人のプロファイルがある。このプロファイルには、体格、力、パワー、敏捷性、スピードと持久性を計ったものである。テストは、年３回行なう。テストは、体力の状態を知るために必要であり、個人のトレーニングの特性を知ることもできる。また、トレーニングの動機づけを行なうためにも必要なテストである。このプロファイルは、個人的なトレーニングの処方だけではなく、チーム発展の状態を理解させることもできる。そして「けが」の可能性も少なく、能力を最高にあげることができる。

B　目的

このゴールセッティングは、２つある。一つは、コーチたちのアイデア。競技者とコンディショナーたちと共に個人的状態やチーム全体の状態を知る。従ってチーム、個人の長所、短所を知ることによって、トレーニングプログラムの資料をつくることができる。学期が始まる前にコーチと相談をして、個人、チームの長、短所を確認する。年間の目標やアイデアの作成等により、トレーニングプログラムの管理をする。コーチの目的と個人の情報を知ることによって、トレーナーは個人のプレイヤーに合って、プレイヤーの目標プロファイルを作成する。勿論「けが」の場合は必要に応じてプロファイルを変えてもいく。当然のことながら、プレイヤーからも彼自身考えも聞きだす。

C　処方

プレイヤーの個人的情報からウエイトトレーニングのプログラムを作成する。このプログラムは、個人的、または個人のポジションやチームの特性を考慮して作られている。また、処方は、そのスポーツあるいは季節によって考えている。トレーニングの回数は、１年の時期にあわせてである。また、このプログラムはトレーニングの時期によって規定され、また負荷と厳しさによって、ゲームに最高のコンディションになるよう作られている。

D　日誌

競技者の全ては、トレーニングの種類および負荷重量、回数を記載できる日誌をもっている。この日誌のようなカードは、トレーナーによって評価、管理される。

E　日誌のチェック

ある時期に、個人の日誌はトレーナーによってチェックされ、競技者のために適切なものであるかを調べられる。また、トレーニングの時期が終了した時、トレーナーによって評価され、進行の技態を調べられる。これらは、次後のトレーニングを指導するためのものである。

F　テスト

年に３回のテストが行なわれる。

○PRE SEASON（８月）

体格……身長、体重、脂肪（％）、柔軟性。

表１　ポジション別にみた体力の目標（アメリカンフットボール選手用）

Exercises	Rating		Offense-Defense Lineman	Linebackers Tightends	Offense-Defense Backs	Quarterbacks Kickers	Receivers
BENCH PRESS	Superior	100%	425 lbs up	390 lbs up	365 lbs up	330 lbs up	330 lbs up
	Very Good	90%	420 - 400	385 - 365	360 - 340	325 - 305	325 - 305
	Good	80%	395 - 375	360 - 340	335 - 315	300 - 280	300 - 280
	Average	70%	370 - 335	335 - 300	310 - 275	285 - 250	285 - 250
	Marginal	60%	330 - 310	295 - 275	270 - 250	245 - 225	245 - 225
	Poor	50%	305 - 285	270 - 250	245 - 225	220 - 200	220 - 200
POWER CLEANS	Superior	100%	330 lbs up	310 lbs up	290 lbs up	275 lbs up	275 lbs up
	Very Good	90%	325 - 310	305 - 290	285 - 270	270 - 255	270 - 255
	Good	80%	305 - 290	285 - 270	265 - 250	250 - 235	250 - 235
	Average	70%	285 - 255	265 - 235	245 - 215	230 - 200	230 - 200
	Marginal	60%	245 - 230	230 - 215	210 - 195	195 - 180	195 - 180
	Poor	50%	225 - 210	210 - 195	190 - 175	175 - 160	175 - 160
PARALLEL SQUAT	Superior	100%	540 lbs up	500 lbs up	480 lbs up	460 lbs up	460 lbs up
	Very Good	90%	535 - 515	495 - 475	475 - 455	455 - 435	455 - 435
	Good	80%	510 - 490	470 - 450	450 - 430	430 - 410	430 - 410
	Average	70%	485 - 450	445 - 410	425 - 390	405 - 370	405 - 370
	Marginal	60%	445 - 425	405 - 385	385 - 365	365 - 345	365 - 345
	Poor	50%	420 - 400	380 - 360	360 - 340	340 - 320	340 - 320
VERTICAL JUMP	Superior	100%	30 in. up	32 in. up	34 in. up	32 in. up	34 in. up
	Very Good	90%	29.5 - 28.0	31.5 - 30.0	33.5 - 32.0	31.5 - 30.0	33.5 - 32.0
	Good	80%	27.5 - 26.0	29.5 - 28.0	31.5 - 30.0	29.5 - 28.0	31.5 - 30.0
	Average	70%	25.5 - 23.5	27.5 - 25.5	29.5 - 27.5	27.5 - 25.5	29.5 - 27.5
	Marginal	60%	23.0 - 21.5	25.0 - 23.5	27.0 - 25.5	25.0 - 23.5	27.0 - 25.5
	Poor	50%	21.0 - 19.5	23.0 - 22.0	25.0 - 23.5	23.0 - 22.0	25.0 - 23.5
STAND JUMP	Superior	100%	9 ft 0 in. up	9 ft 6 in. up	10 ft 0 in. up	9 ft 6 in. up	10 ft 0 in. up
	Very Good	90%	8'11" - 8'8"	9'3" - 9'0"	9'11" - 9'8"	9'3" - 9'0"	9'11" - 9'8"
	Good	80%	8'7" - 8'4"	8'11" - 8'8"	9'7" - 9'4"	8'11" - 8'8"	9'7" - 9'4"
	Average	70%	8'3" - 7'11"	8'7" - 8'1"	9'3" - 8'9"	8'7" - 8'1"	9'3" - 8'9"
	Marginal	60%	7'10" - 7'7"	8'0" - 7'9"	8'8" - 8'5"	8'0" - 7'9"	8'8" - 8'5"
	Poor	50%	7'6" - 7'3"	7'8" - 7'5"	8'4" - 8'1"	7'8" - 7'5"	8'4" - 8'1"
40-YARD SPRINT	Superior	100%	4.80 sec. less	4.60 sec. less	4.45 sec. less	4.60 sec. less	4.45 sec. less
	Very Good	90%	4.81 - 4.90	4.61 - 4.70	4.46 - 4.55	4.61 - 4.70	4.46 - 4.55
	Good	80%	4.91 - 5.00	4.71 - 4.80	4.56 - 4.65	4.71 - 4.80	4.56 - 4.65
	Average	70%	5.01 - 5.25	4.81 - 5.05	4.66 - 4.90	4.81 - 5.05	4.66 - 4.90
	Marginal	60%	5.26 - 5.35	5.06 - 5.15	4.91 - 5.00	5.06 - 5.15	4.91 - 5.00
	Poor	50%	5.36 - 5.45	5.16 - 5.25	5.01 - 5.10	5.16 - 5.25	5.01 - 5.10

筋力……ベンチプレス、スクワット、パワークリーン
パワー・敏捷性……巾とび、垂直とび、20ヤード往復走、30ヤード背走。
スピード…40ヤード疾走、20ヤード疾走、但し、パワー、敏捷性、スピードテストは、新人のみ実施。
○ POST SEASON（11月）
体格……体重、脂肪（%）、柔軟性。
筋力……ベンチプレス、スクワット、パワー、クリーン
○ OFF SEASON（3月）
体格、筋力、パワー、敏捷性、スピードの全種目を実施する。
G 評価
評価は、1チームの順位、2ポジション中の順位、3チームおよびポジションの平均値よりの比較等によってなされる。

体力測定結果の例

Name: Example
Period: Off Season

OFFENSIVE AND DEFENSIVE LINEMAN

Ranking		Bench Press	Power Clean	Parallel Squat	Vertical Jump	Stand Jump	40-Yard Sprint
Superior	100%	425 lbs	330 lbs	540 lbs	30 in.	9' 0"	4.80 sec.
Very Good	90%	400 lbs	310 lbs	515 lbs	28 in.	8' 8"	4.90 sec.
Good	80%	375 lbs	290 lbs	490 lbs	26 in.	8' 4"	5.00 sec.
Average	70%	335 lbs	255 lbs	450 lbs	23.5 in.	7' 11"	5.25 sec.
Marginal	60%	310 lbs	230 lbs	425 lbs	21.5 in.	7' 7"	5.35 sec.
Poor	50%	285 lbs	210 lbs	400 lbs	19.5 in.	7' 3"	5.45 sec.

EVALUATION

ANTHROPOMETRIC

	Score	Goal
Height:	6'3½	
Weight:	225	235
% Fat:	17%	12%
Lean Wt:	187	207
Flex:	+1	-1

STRENGTH

	Score	% Value	Goal
Bench:	365	77.5	380
Clean:	245	66.0	275
Squat:	450	70.0	490
(Avg.):		71.2	

POWER/SPEED

	Score	% Value	Goal
Vert. Jump:	23.5	70.0	25.5
Stand Jump:	7'8"	62.5	8'4"
40-Yard:	5.19	77.6	5.05
(Avg.):		70.03	

H。再評価
プレイヤーを目標により近づけさせるため、プレイヤーは、夏休み前にコーチにより進行の状態や体力の長、短所について再確認され、プログラムの変更あるいは持続の指示がだされる。

Ⅲ．年間のトレーニング期間

A オフシーズン（5月～8月）
この時期は、からだの発達がトレーニングによって充分に期待できる。この時期の目的は、
1 弱いところを徹底してトレーニングする。
2 一般的な自己のからだのプロファイルをなおすこと。
3 キャンプには最高のコンディションで参加すること。
4 身体と精神の上でチャンピオンシップのための用意をすること。

B シーズン（8月～12月）
この時期は最高の質的なものを維持されなければならない。従って次の目標が定められる。
1 力、スピード、パワーの維持。
2「けが」をしないこと。
3 ゲーム中にミスをしないこと。
4 身心両面で相手チームに勝ること。
5 可能な限りプレーをする。

C 冬（1月～3月）
この時期のトレーニングは、10週間としてトレーニングのレベルをより高く上げる必要がある。次の事項が計画に取り入れられる。
1 筋力、パワー、スピードの強化。
2 身体調整（コンディションベース）をよりよくする。
3 機敏さ、速度の向上。
4 トレーニング方法を正確にする。
5 身心両面の強化。

D 春（4月～5月）
春は、インシーズンと同様である。この時期はからだのコンディションが、90～95％と維持されるように努力する。
以上の様にUSLAのトレーニング計画は、3つの変化からなっている。一つは、トレーニングの発展期（オフシーズン、冬期）と体力の維持期（シーズン、春期）と回復と進歩に力を入れるための発展期と維持期の間にある休息期からなっている。

Ⅵ．準備運動計画（Warm-up program）

以下に述べる準備運動は、3つの段階からなっている。これらの運動は、身体が最大努力が可能であり、練習の時に「けが」の危険性を減らすために計画されている。これらの段階の一つをも無視してはならない。集中して行ない、精神的な準備は、身体活動と同程度に重要であることを認識しなければならない。

ステップⅠ 走 縄とび、½マイル
1日の練習を始める前に、身体

USLAの身体発達の段階目標

100% _ Of Your Potential

PHYSICAL CAPACITY

95% 90% 85% 80% 75% 70% 65% 60% 55% 50% 45% 40% 35% 30%

OFF SEASON	IN SEASON	WINTER	SPRING	OFF SEASON	IN SEASON	WINTER	SPRING	OFF SEASON	IN SEASON	WINTER	SPRING	OFF SEASON	IN SEASON	WINTER	SPRING
FRESHMAN YEAR				SOPHOMORE YEAR				JUNIOR YEAR				SENIOR YEAR			

の準備運動は、非常に重要である。縄とびや½マイル走によって、①活動筋の血流の増加、②活動筋の温度（体温）の増加、③筋の腱や骨格中の抵抗や緊張の減弱。④心拍数や呼吸数の増加。

○縄とび運動

①標準跳び、高速で両足そろえて。

②足の交代、右足で2回ジャンプ、左足で2回ジャンプをくり返す。

③左右とび、想像上の線上を片足または両足で左右にとぶ。

④前後とび、想像上の線上を片足または両足で前後にとぶ。

⑤その場かけ足、ももを高く上げ、速く縄を回す。

⑥片足とび、右足だけでとび、次に左足でくり返しとび。

⑦二重とび。

○½マイル走

リラックスして、ゆっくりと速度を上げていく。あくまでリラックスで膝を高くし、手を大きくふり、正しい型で走る。

ステップⅡ　腹部

腹部の筋肉を強くすることは重要である。この領域は、上肢、下肢の運動によって、からだの能力の調整を助けるものである。従って爆発的な瞬発力をより高め、スピードと敏捷性をより高めることになる。

腹部訓練

1膝曲げ、上体起し上体ひねり。
2膝曲げ、上体起し。
3仰臥膝上げ。

ステップⅢ　ストレッチング

ストレッチングの方法については、以下に示す図にしたがって行なうことが大切である。

。縄とびと腹部訓練の規定

○縄とび

セット＃1　ジャンプでは15～30秒間、休息15～30秒間。
セット＃2　＃1に同じ。
セット＃3　＃2に同じ。
コンディションによって休息時間を短縮すること。

○腹部

セット＃1　10～20秒間、休息10～20秒間。
セット＃2　＃1に同じ。
セット＃3　＃2に同じ。

。USLAストレッチング規定

①片方の肘を頭の後方から片方の手でひく運動。左右各10秒間、合計20秒間。

②両肘を内側にして、両手をからだの後で組み、ゆっくりと伸

③

②

①

④a ④b ⑤

大腿四頭筋 膝窩筋

ばす運動15秒間。

③ 両手を頭上に伸ばして組み、からだを横に倒す。体側部を伸ばす運動左右各10秒間。

④a立位の姿勢から、膝を伸ばしたままゆっくりと腰部を曲げ、脚の後側を伸ばす運動、30秒間。

④b再び立位姿勢になり、膝をわずかに曲げ、膝窩筋を伸ばす運動。

⑤ ¼のしゃがみこみ、20秒間。

⑥ ④a、④bを今度は25秒間行なう。

⑦ 両足を伸ばし座位の姿勢(両足の間隔を4～8インチ離す)、両脚を伸ばし、ゆっくりと腰を曲げる、10秒間。次に両手を脚の内側から両踵をつかんで、腰を曲げる運動、10秒間。

⑧ 脊柱をよじる運動左右各10秒間。

⑨ 両方の足の底側を合せ、手前に一緒に引きつける。両腕で抱きこむようにして、足の鼠径部が伸びるまでゆっくりと前方に引き、楽に伸ばしておさえる、15秒間。肘を脚の外側に、足を抱きこむかっこうから上体を前方に倒す、15秒間。

⑩ 片方の手を膝にまわし、一方の手を足首にまわして、脚を胸に引きつける。20秒間。片方の足をも行なう。

⑪ 横臥の姿勢、床についている方の足と手は伸ばす。片方の足を片方の手でもち上げ四角形をつくる。10秒間、反対側も行なう。

⑫ 片方の脚をうしろにして、ハードルストレッチ、できるだけ、つま先をうしろにまっすぐに伸ばす。ゆっくり足を伸ばし、からだを後方へ傾ける。リラックスして30秒間。

⑬ 他の足を他の腿の内側にもっていき、片方の脚をまっすぐに伸ばす。膝窩筋と背を伸ばし、腰を前方にゆっくりと伸ばす。5秒間、やや強く15秒間、決して強く伸ばさない。タオルを用いてもよい。

⑭ ⑪、⑫、⑬のくり返し。全体で90秒間。

⑮ 回転ボール、起き上りと後方、4～6回、1回につき各15秒間。

⑯ 仰臥の姿勢から、腰を折り脚を頭上方向に伸ばす。両手は、腰につけ、からだをささえる。楽に伸ばしているときは、呼吸は自然の状態である。20秒間。

⑰ 両脚のオーバーポジョンからのころがり回し、ゆっくりとローリングしながら脊椎を伸ばす。両手で、膝あるいは下腿部をささえることは、回転を助ける。回転のくり返し、10秒間。

⑱ 仰臥姿勢、両腕を頭上に伸ばす。このポイントは、両腕を頭上に伸ばし、足指も徹底的にひっぱることである。5秒間、その後

弛緩。

⑲ 横臥の姿勢から、片方の脚を下に伸ばし、片方の膝を胸につけるようにして引き両手で膝をかかえこむ運動、10秒間。

⑳ ⑲から片方の脚を交差して、伸ばし引く。もし、右の脚を交差した場合は、左手は頭をみながら肩を平担に上方に置く、20秒間。

㉑ ⑲、⑳の方法で反対側を合計30秒間行なう。

㉒ ⓐ脚をひらき伸ばし座る。両脚はしっかりひらき、リラックスしながら保ちながら前方に腰を出すようにする。20秒間。ⓑ脚をひらき伸ばし座る。左の脚の方へ腰を曲げながら、背中と左膝窩筋を伸ばす。20秒間。ⓒ逆方向を20秒間、全体で60秒間。

㉓ 両方の足の裏側を一緒に引き、楽に前方に伸ばす運動、20秒間。

㉔ サイゴンスクワット、10秒間。

㉕ 片方の膝を前方に曲げる。一方の脚を後方に伸ばす。ゆっくりと腰を前方へ動かし、とめる。楽に伸ばす、15秒間、両方で30秒間。

⑬ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕

シンプルがいいね、技術も。

近年、〝技術〟はますます高度で複雑になってきました。専門知識を持った人や経験を積んだ人でなくては扱えないような機械もふえています。でも本来機械は、誰もが気軽に使えるものであるべきでしょう。これからの技術には単純明快なわかりやすさが必要なのです。いま日立はインターフェイスという言葉のもとに、人間と技術とのよりよい関係、誰もがかんたんに使いこなせる技術の実現をめざして研究・開発をすすめています。

技術との自由な対話

Interface

株式會社 日立製作所　宣伝部 〒101 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 TEL東京(03)258-1111(大代)

第10回　ハンドボール日本リーグ日程

開催日	前　期	男　子		女　子	
6/8	藤沢市秋葉台体育館	17：30～	大同特殊鋼×三陽商会	16：00～	大崎電気×ジャスコ
(土)	岩井総合体育館	14：00～	本田技研鈴鹿×大崎電気	15：20～	立石電機×日本ビクター
6/9	市川市スポーツセンター	15：30～	日新製鋼×大崎電気	14：00～	大崎電気×日本ビクター
(日)	栃木総合体育館	13：00～	湧永製薬×三陽商会	14：30～	大和銀行×日立栃木
6/15	岡崎市体育館	16：10～	大同特殊鋼×大崎電気	14：50～	大崎電気×大和銀行
(土)	四日市体育館	15：50～	本田技研鈴鹿×三陽商会	14：30～	立石電機×ジャスコ
6/16	岡山県体育館	15：00～	大同特殊鋼×本田技研鈴鹿	13：10～	立石電機×大和銀行
(日)	松山市コミュニティーセンター体育館	14：25～	湧永製薬×日新製鋼	13：00～	日立栃木×日本ビクター
6/22	福井県営体育館	17：30～	日新製鋼×三陽商会		
(土)	塩山市民体育館	15：30～	湧永製薬×大崎電気	14：00～	大崎電気×日立栃木
	大阪中央体育館			16：00～	大和銀行×ジャスコ
6/23(土)	氷見市総合体育館	14：30～	大同特殊鋼×日新製鋼	13：00～	日本ビクター×ジャスコ
6/29	下関市体育館	17：20～	湧永製薬×本田技研鈴鹿	15：50～	大和銀行×日本ビクター
(土)	京都市体育館	14：30～	大崎電気×三陽商会	15：50～	立石電機×日立栃木
6/30	呉市体育館	14：30～	日新製鋼×本田技研鈴鹿	13：00～	日立栃木×ジャスコ
(日)	西宮市立中央体育館	14：30～	大同特殊鋼×湧永製薬	13：00～	大崎電気×立石電機
	後　期				
11/2	岩手県営体育館	17：30～	日新製鋼×大崎電気	16：00～	大崎電気×ジャスコ
(土)	宮城県スポーツセンター	15：30～	大同特殊鋼×三陽商会	16：50～	日立栃木×日本ビクター
11/3(日)	福島体育館	14：10～	大同特殊鋼×大崎電気	12：30～	大崎電気×日本ビクター
11/4(月)	広島サンプラザ	14：30～	湧永製薬×本田技研鈴鹿	13：00～	立石電機×大和銀行
11/9(土)	神戸市立中央体育館	16：30～	湧永製薬×日新製鋼	15：00～	大和銀行×ジャスコ
11/10	岐阜県民体育館	15：00～	大同特殊鋼×日新製鋼	13：00～	立石電機×ジャスコ
(日)	東根市民体育館	15：00～	本田技研鈴鹿×大崎電気	13：30～	大崎電気×日立栃木
11/11(月)	大阪中央体育館	18：20～	湧永製薬×三陽商会	17：00～	大和銀行×日本ビクター
11/16(土)	横浜文化体育館	11：20～	大同特殊鋼×本田技研鈴鹿	16：00～	日立栃木×ジャスコ
	岩井総合体育館	14：00～	日新製鋼×三陽商会	15：20～	立石電機×日本ビクター
11/17	栃木市総合体育館	13：00～	本田技研鈴鹿×三陽商会	14：30～	立石電機×日立栃木
(日)	戸田市スポーツセンター	15：50～	湧永製薬×大崎電気	14：30～	大崎電気×大和銀行
11/23(土)	四日市体育館	15：50～	日新製鋼×本田技研鈴鹿	14：30～	日本ビクター×ジャスコ
11/24	名古屋市体育館	15：40～	大同特殊鋼×湧永製薬	14：20～	大和銀行×日立栃木
(日)	熊本県立総合体育館	13：30～	大崎電気×三陽商会	15：00～	大崎電気×立石電機

第10回日本ハンドボールリーグ（二部）日程表

開催日	会場	男子		女子	
6/8	本田技研鈴鹿	15：50～	中村荷役×本田熊本	14：30～	ムネカタ×北国銀行
(土)	(三重)	17：10～	大阪イーグルス×トヨタ車体		
	ジャスコ	13：30～	日鉄建材×トヨタ自動車	14：50～	東京重機×シャトレーゼ
	(三重)	17：10～	三　景×大阪ガス	17：30～	ブラザー工業×ソニー国分
6/9	本田技研鈴鹿	10：00～	大阪イーグルス×本田熊本		
(日)	(三　重)	11：20～	中村荷役×大阪ガス		
	ジャスコ	10：00～	三　景×トヨタ自動車	11：20～	ブラザー工業×シャトレーゼ
	(三重)	12：40～	日鉄建材×トヨタ車体		
6/15(土)	岡崎市体育館	13：30～	中村荷役×トヨタ自動車		
6/22	福井県営体育館			16：00～	ブラザー工業×北国銀行
(土)	大阪中央体育館	17：20～	大阪イーグルス×大阪ガス		
	塩山市民体育館			17：00～	シャトレーゼ×ソニー国分
6/29	大崎電気	13：20～	大阪イーグルス×トヨタ自動車	16：00～	ムネカタ×シャトレーゼ
(土)	(埼玉)	14：40～	中村荷役×トヨタ車体		
		12：00～	日鉄建材×大阪ガス		
	東京重機	18：50～	三　景×本田熊本	17：30～	東京重機×ソニー国分
	(東京)				
6/30	大崎電気	10：00～	大阪イーグルス×日鉄建材	11：20～	ブラザー工業×ムネカタ
(日)	(埼玉)	12：40～	三　景×中村荷役		
	東京重機	11：20～	本田熊本×トヨタ車体	10：00～	東京重機：北国銀行
	(東京)	13：30～	トヨタ自動車×大阪ガス		
	後　期				
11/3(日)	福島体育館			11：00～	東京重機×ムネカタ
11/16	大阪ガス	15：00～	大阪イーグルス×三　景	12：40～	ムネカタ×ソニー国分
(土)	(兵庫)	16：40～	中村荷役×日鉄建材	14：00～	北国銀行×シャトレーゼ
		11：20～	トヨタ自動車×トヨタ車体		
		10：00～	本田熊本×大阪ガス		
11/17	大阪ガス	15：20～	大阪イーグルス×中村荷役	12：40～	北国銀行×ソニー国分
(日)	(兵庫)	16：40～	三　景×日鉄建材	14：00～	ブラザー工業×東京重機
		11：20～	トヨタ自動車×本田熊本		
		10：00～	トヨタ車体×大阪ガス		
11/24	名古屋市体育館	13：00～	三　景×トヨタ車体		
(日)	熊本県立総合体育館	12：00～	日鉄建材×本田熊本		

各地の記録から…

寒くても元気、近畿小学校交歓会

第1回近畿小学校交歓会

（1月27日／仏教大体育館）

▼Aリーグ

貞教 9－5 岩出JrA
（京都）（和歌山）
豊中手毬ク 8－1 千代が丘HC
（大阪）（兵庫）
千代が丘HC 7－4 貞教
豊中手毬ク 9－1 岩出JrA
千代が丘HC 10－3 岩出JrA
豊中手毬ク 11－6 貞教

［順位］①豊中手毬ク②千代が丘HC③貞教④岩出JrA

▼Bリーグ

岩出JrB 6－5 向島南
（和歌山）（京都）
根知和スポーツ 8－6 山口ク
（大阪）（兵庫）
山口ク 10－4 向島南
根知和スポーツ 7－4 岩出JrB
山口ク 12－2 岩出JrB
根知和スポーツ 11－6 向島南

［順位］①根知和スポーツ②山口ク③岩出JrB④向島南

東日本医科大学体育大会

▼1回戦

昭和大医 16－15 杏林大医
慈恵医大 不戦勝 群馬大医
日本医大 15－9 山梨医大
筑波大医 17－13 北海道大医

▼2回戦

自治医大 27－7 昭和大医
北里大医 17－11 慈恵医大
日本医大 15－9 山梨医大
岩手医大 20－19 筑波大医

▼準決勝

自治医大 17－9 北里大医
岩手医大 23－15 日本医大

▼3位決定戦

北里大医 16－14 日本医大

▼決勝

自治医大 13（7－2、6－5）7 岩手医大

第3回千葉県クラブカップ

（2月16、17日／佐原市民体育館）

〈男子〉

▼1回戦

市原ク 26－16 柏南ク

▼2回戦

佐原ク 12－9 泊ク
市川Fog 15－14 流山中央ク
スティラーズ 12－0 清水ク
市原ク 15－11 小金ク

▼準決勝

市川Fog 20－13 佐原ク
市原ク 16－14 スティラーズ

▼決勝

市川Fog 15（8－8、7－2）10 市原ク

昭和59年度千葉県高校新人大会

（1月19、20日／柏市民体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦

四街道 12－11 房総学園
柏南 24－15 東京学館浦安
幕張北 17－15 流山中央
木更津 12－8 東京学館

▼2回戦

市川 30－6 四街道
芝工大付柏 17－11 松戸秋山
我孫子 15－14 佐原
二松学舎沼南 16－7 柏南
幕張北 10－10 八千代（2PTC1）
生浜 15－7 市原
船橋旭 12－6 若松
東邦 13－12 木更津

▼準々決勝

市川 24－10 芝工大付柏
二松学舎沼南 27－9 我孫子
幕張北 16－11 生浜
船橋旭 14－9 東邦

▼準決勝

市川 17－16 二松学舎沼南
船橋旭 19－8 幕張北

▼決勝

市川 13（5－4、8－6）10 船橋旭

※市川は2年ぶり5回目の優勝。

〈女子〉

▼1回戦

流山中央 15－3 御宿家政
佐原女 19－8 白井
佐原 26－3 千葉大宮
東邦 37－1 東葛飾
泉 16－4 松戸六実

▼2回戦

昭和学院 23－10 流山中央
柏南 14－12 佐原
東邦 14－7 佐原女
和洋女 23－9 泉

▼準決勝

昭和学院 24－5 柏南
東邦 12－10 和洋女

▼決勝

昭和学院 6（3－3、3－2）5 東邦

※昭和学院5年連続17回目の優勝。

第24回東海室内選手権

（2月16日／四日市体育館）

〈一般男子〉

▼1回戦

大同特殊鋼 28－15 静農ク
本田技研 38－8 市岐商ク

▼決勝

本田技研 17（8－7、7－8、1－0、1－0）15 大同特殊鋼

※本田技研4年ぶり4度目の優勝。

〈一般女子〉

▼1回戦

ブラザー工業 31－7 腕満会
ジャスコ 30－8 静岡城北ク

▼決勝

ブラザー工業 18（5－7、13－9）16 ジャスコ

※ブラザー工業2年連続4度目の優勝。

昭和59年度群馬県リーグ

（1月15、2月17日／前橋市民体育館）

▼リーグ戦

桐生ク 26－18 群大ク
前橋ク 25－21 桐生ク
前橋ク 21－16 群大ク
藤岡ク 23－15 吉井ク
吉井ク 18－18 富岡ク
富岡ク 27－19 桐生ク
藤岡ク 26－17 富岡ク
藤岡ク 24－13 群大ク
前橋ク 21－20 藤岡ク
前橋ク 24－13 吉井ク
藤岡ク 26－20 桐生ク
群大ク 22－22 富岡ク
吉井ク 22－22 群大ク
桐生ク 24－19 吉井ク
前橋ク 28－20 富岡ク

【順位】①前橋ク②藤岡ク③桐生ク

第24回富山県高校室内選手権

（2月3、10、11日／富山市体育館、県総合体育館）

〈男子〉

▼1回戦

富山高専 17－13 高岡商
八尾 11－8 富山中部
呉羽 15－8 富山商

▼2回戦

高岡 28－6 富山高専
小杉 17－7 富山工
新湊 12－9 水橋
八尾 19－7 富山東
二上工 18－5 富山南
雄山 17－13 大沢野工
高岡南 11－9 富山
氷見 20－10 呉羽

▼3回戦

高岡 22－17 小杉
八尾 18－13 新湊
二上工 20－14 雄山
氷見 29－12 高岡南

▼準決勝

高岡 21－13 八尾
氷見 31－21 二上工

▼3位決定戦

二上工 24－21 八尾

▼決勝

高岡 22（14－11、8－10）21 氷見

※高岡は初優勝。

〈女子〉

▼1回戦

高岡向陵 20－15 高岡女

▼2回戦

高岡商 14－12 高岡向陵
高岡 15－7 富山女
富山女短付 22－8 新湊
富山北部 12－11 高岡第一

▼準決勝

高岡商 28－4 高岡
富山女短付 20－12 富山北部

▼決勝

高岡商 13（4－5、9－4）9 富山女短付

※高岡商は2年連続2回目の優勝。

第2回千葉県中学校新人戦

（2月10、11日／東邦高）

〈男子〉

▼1回戦

千城台南 16－15 河原塚

▼2回戦

福栄 27－7 千城台南
東邦大付東邦 24－5 富岡
葛飾 15－11 更科
逆井 22－3 柏三

▼準決勝

福栄 9－6 東邦大付東邦
逆井 10－9 葛飾

▼決勝

福栄 14（7－3、7－6）9 逆井

※福栄は初優勝。

〈女子〉

▼1回戦

昭和学院 22－7 柏三
福栄 8－5 貝塚
大栄 11－10 加曽利
葛飾 21－5 聖徳短大付

▼準決勝

昭和学院 20－8 福栄
葛飾 13－11 大栄

▼決勝

昭和学院 14（7－6、7－7）13 葛飾

※昭和学院は初優勝。

第15回鳥取県室内総合選手権

（3月17、21日／境港市民体育館、境港第二市民体育館）

〈男子〉

▼1回戦

境港工高 34－28 米子工専
米子西高 17－11 境二中
鳥取大 不戦勝 倉吉ク
わかとり 24－23 かしのはク
境高、境1.OB 23－15 米子北高
米子東高 21－5 境一中
中部ク 35－11 境高

▼2回戦

アシックスク 46－8 境港工高
鳥取大 17－14 米子西高
わかとり 31－10 境高、境1.OB
中部ク 42－12 米子東高

▼準決勝

アシックスク 41－9 鳥取大
わかとり 16－15 中部ク

▼決勝

アシックスク 35（1[illegible]－3、19－6）9 わかとり

※アシックスは初優勝。

〈女子〉

▼1回戦

アシックス 30－4 米子東高
米子西高 26－9 境一中
倉吉産高 10－5 境二中
米子南商高 16－4 米子北高

▼準決勝

アシックス 11－2 米子西高
米子南商高 19－4 倉吉産高

▼決勝

アシックス 24（13－0、11－1）1 米子南商高

※アシックスは初優勝。

第24回富山県室内選手権

（2月10、11日／富山市体育館、県総合体育館）

〈一般男子〉

▼1回戦

二上ク 21－17 富山大
高岡商ク 16－11 一般若ク

▼2回戦

氷見ク 24－21 二上ク
射水ク 19－16 想球会
向陵ク 22－17 北嶺会
富山教員 29－12 高岡商ク

▼準決勝

氷見ク 21－17 射水ク
富山教員 28－13 向陵ク

▼決勝

富山教員 23（10－11、13－11）22 氷見ク

※富山教員は2年連続2回目の優勝。

〈一般女子〉

▼決勝

桜球会 15（6－2、9－2）4 想球会

※桜球会は2年連続3回目の優勝。

日本ハンドボール史編集委だより

あなたもハンドボール歴史人
お手持ちの資料でのご協力を
お待ちしてます

日本協会創立50周年（昭和62年2月2日）に「日本ハンドボール史」を刊行する、というお報せはおかげさまで、大きな関心と多くの支持を早々といただきました。

そして、そのあとで「どんな内容のものに？」というご質問を必ず向けられましたが、今回は、編集委員の構想をお伝えし、皆さまのご意見をうかがいたいと思います。

まず、大項目として、次の七つがあります。

①祝辞、メッセージ編
②本編Ⅰ「日本ハンドボールの歩み」
③本編Ⅱ「特別企画」集
(イ)三大座談会
「パイオニア大いに語る」
「全日本男女、苦斗の歴史」「ホイッスル50年」
④球史を彩る「99」のエピソード
⑤はがきアンケート
⑥日本ハンドボール界の将来を探る
⑦特別コーナー
(イ)ハンドボールの戦術〃技術の歴史
(ロ)ルールの変せん
(ハ)ユニホームの変せん
(ニ)用具の変せん
(ホ)思い出のホームグラウンド
(ヘ)史上に残るスーパーチーム
(ト)人物エピソード
(チ)来日チームの思い出
(リ)コレクターズ・アイテム
⑧ブロック協会及び都道府県協会編
⑨全国加盟団体編
⑩国際編
⑪資料編
(イ)名簿
(ロ)試合記録
(ハ)資料と時代年表

◇

これらの内容（目次）案は、昨年12月の第1回編集委員会でねりあげられ今春2月の全国評議員会、全国理事会（新、旧）、全国理事長会議などに提出、4月中旬までをメドに、ご意見をうかがっていました。

また、都道府県協会名簿や大学ＯＢ名簿などを参考に、全国約150名のかたに、資料提供のお願いを兼ねて、ご意見を聞くなどし、いよいよ5月3日の第2回編集委員会で〝最終決定〟することになりました。

前号でご紹介したように、すでに⑧、⑨については、関係機関へ執筆者の推せん（5月10日〆切り）をお願いするなど、次のステップへ進んでいる項目もありますが、この大事業も、薫風を合図に、本格的な作業へ入ります。

十一の大項目のうち、編集委員会が、特に力を入れようとしているものに「球史を彩る99のエピソード」と「特別コーナー」があります。

◇

「99のエピソード」は、編集委員会が、50年間約300近いなかから選び出した項目について、その関係者たちの執筆で、これまで知られていない話題を、この機会に掘りおこそうと企画したものです。

いわば、歴史の裏側、周辺の詳細の新発掘であり、通りにいっぺんの記念誌ではなく、読みものとしても、歯ごたえのある本に、といった観点から立案されました。

一通り「99」のエピソードは出揃っているのですが、今なお、いくつかの提案や、ご意見が寄せられており、〝決定〟までには至っていません。

例として、いくつかのテーマを並べてみますと――

「幻の東京オリンピック（昭15）」
「ヒットラー・ユーゲントの来日（昭13）」
「復活東西対抗（昭21）」
「日本協会旗の制定（昭22）」
「ナイト・ゲームハンドボール（昭28～昭32）」
「全日本高校選手権・寝屋川高対熊本市立の死斗（昭33）」
「日体大、韓国遠征（昭36）」
「ミュンヘン・オリンピックへの道（昭41～昭47）」
「女子実業団の盛衰」
「日本リーグの発足（昭51）」
「スカイプレーの誕生」
「中国の国際舞台復帰（昭54）」
「天らん試合」
「財団法人化の実現（昭56）」
「大同×湧永対決時代」などがあります。

いずれ「99」すべての項目をご紹介しますが、内容の濃い特集になるものと期待されます

◇

「特別コーナー」にも力を入れるつもりです。

細目は前述の通りですが、読者の皆さんからの絶大な協力を希望しています。

昭和30年以前のルールブックをお持ちのかたなど、ぜひご提供、あるいはご貸与願いたいし、「ルール研究」をつづけていられるかたも、ご紹介いただきたい。

ユニホームの変せんは、写真を主体とした「日本ハンドボール・ファッション史」を狙っています。

皆さんのユニホーム姿、チーム写真などを年月日明記のうえ、とりあえず編集委員会あて、お送りいただけませんか。

昭和30年以前の写真（ユニホーム姿）は、特に大歓迎です。

思い出のホームグランドは、現在、次のような所がリストアップされています。

・東京体育研究所
・西宮球技場
・駒沢ハンドボール場（屋外）
・神宮競技場
・藤井寺球技場
・台東体育館（東京）
・金山体育館（名古屋）

このほか、現代の常打ち場ともいうべき東京体育館、駒沢屋内球技場、愛知県体育館、大阪市中央体育館などを加えて書きつづりたいと思いますが、各会場の全景写真やエピソードを是非お報せ下さい。コレクターズ・アイテムは、マニアの協力を欠かせません。例えば、次のような品をお持ちでしたらご提供、ご貸与下さい

・諸大会入場券（半券）
・諸大会ポスター
・昭和40年以前の諸大会プログラム
・世界のハンドボール切手
・世界のハンドボール雑誌
・諸大会記念品

◇

資料編も、編集委員会としては全国のバックアップを強く望んでいる項目の一つです。

・昭和40年度以前の日本協会役員名簿
・昭和35年度以前の諸大会スコア

以上の二項目は、特に、どのような様式のものでも結構ですので、お送り下さい。

こうした資料は、本来、日本協会当局が完備しているべきですが事務局の移転や整理のたびに、一つ減り、二つ消えて、残念ながらほとんど手元には揃っていないのです。

「このようなものが役に立つかな」と思われる資料でも、ともかく編集委員会あて、声をかけて下されば、と思っています。

小さな紙の一片に、思わぬ歴史が秘んでいる――そんな話を、大事にしたいのです。

◇

記録編では、50年間の全国際試合のスコアを集めつくしたい、と考えています。

ナショナルチームのスコアは、ともかく揃っていますが、意外にも、近年になっての単独チームの海外遠征記録や、国内での対外国チームの資料が不足しています。

高校、大学、クラブ、社会人を問わず「うちのチームの、こんな国際試合記録をご存知ですか」というのを、是非、お聞かせ下さい。

史的資料というのは、一つでも欠けると、なんの役にも、意味にもなりませんし、後日「こんなことが……」といわれても、それこそ後（あと）のまつり、です。

また、珍記録についても、今後の発生を含めて、ご一報下さい。

例えば、次のようなケース…。

・11人制時代、延長後もなお0対0で引き分けた試合の記録
・11人制時代、男子で60点以上、女子で40点以上の得点を記録した試合
・7人制で、男子75点以上、女子65点以上の得点を記録した試合
・両チーム合計得点が100点以上の試合
・1試合の個人得点が男子30点以上、女子25点以上の記録

「私は33点をあげた」とか「彼女は30点も入れた」などというデータを望んでいるのです

また、県内での連勝記録も探しています。

「県内、対高校チーム、150連勝」といった資料があれば、助かります。

◇

具体的なデータとして、次の件をご存知のかた、ご一報下さい

・昭和17年春季の関東学生リーグスコア（プログラムもあれば……）
・昭和17年秋季に関東学生リーグは行われたか。

行われた、とすれば、そのスコア（プログラムもあれば……）

・昭和18年春、秋に関東学生リーグは行われたか。

行われた、とすれば、そのスコア（プログラムもあれば……）

特に、昭和17年秋季以降は、関東学生リーグが行われたかどうかさえ不明確ですので「行われた」「行われていない」だけでもお教え下さい。

また、戦前の関東学生リーグ（連盟）の諸会議議事録をお持ちのかたはいませんか。

◇

あなたのお近くに「古いことをよく知っている」ハンドボーラーはいませんか。

「古い」というのは、いつごろ、ということにもなりましょうが、とりあえず「昭和29年以前」と指定させて下さい。

特に「戦前」「昭和20～25年」の事情通、研究家を探しております。

お気づきでしたら、編集委員会あてご推せん下さい。

ともかく、「この程度のことは分かっているだろう」といったことが、案外、落し穴なのです。

50年間のあらゆること、をもう一度このチャンスに洗い直したいというのが、編集委員会の最大主眼です。

どうか、ご協力下さい。「日本ハンドボール史」に対するご意見当欄へのご希望なども、積極的にお寄せ下さい。

日本ハンドボール史 編集委員会

▽委員長　入江信太郎
▽委員　外山准二、嶋田新太郎、村田弘、岡村昭二、新井節男、藤本強、杉山茂、滝口三郎、川上整司、水上一
▽顧問　荒川清美、大野金一

情報、資料の提供は、すべて〒150 東京都渋谷区神南1の1（財）日本ハンドボール協会 記念誌委員会まで。TELは03―四八一―二三六一です。用紙など自由。

告知板

世界選手権Ａグループアジア地区代表は9月末日までに

４月22日、国際ハンドボール連盟（ＩＨＦ）より日本ハンドボール協会に入った連絡によれば、来年２月スイスで開催される世界選手権Ａグループのアジア地区代表を本年９月30日までに通知するように伝えて来た。

世界学生選手権日本代表メンバー決まる

６月の15日～24日まで西ドイツで開催される第９回世界学生選手権大会に参加する日本代表チームのメンバーが、以下のように決定した。

［役員］

▶団　長　中沢重夫（芝浦工大）
▶監　督　大西武三（筑波大）
▶コーチ　宍倉保雄（大阪体育大）

［選手］

▶ＧＫ　①花田雅人（同志社大・４年）
21歳　180cm
⑫山本隆司（仙台大・４年）
21歳　184cm
⑯吉田　修（日本大・３年）
20歳　186cm

▶ＦＰ　②朝生和光（筑波大卒）
22歳　174cm
③中沢達彦（日本体育大・４年）
21歳　181cm
④武田大伸（日本大・４年）
21歳　186cm
⑤平林義規（慶応大・４年）
22歳　183cm
⑥木切倉良昭（福岡大・４年）
21歳　175cm
⑦綿引　智（国士館大・４年）
21歳　176cm
⑧佐久間良章（大阪体育大・４年）
21歳　190cm
⑨河原隆雅（中部大・４年）
21歳　180cm
⑩江沢直人（中央大・３年）
21歳　180cm
⑪山村敏之（大阪体育大・３年）
20歳　177cm
⑬岡　伸一（日本大・３年）
20歳　177cm
⑭橋本二次夫（日本体育大・２年）
19歳　181cm
⑮斎藤慎太郎（日本体育大・２年）
19歳　185cm

登録手続は終わりましたか？

昭和60年度の登録手続は５月31日までです。まだ手続のお済みになっていないチームは、至急都道府県ハンドボール協会の指示にしたがって登録手続を終えるようにして下さい。

［広報委員会より］

機関紙の発行も一時期数カ月の遅れを出し、内容的にも大変古いものだったりして大変みなさんの不評を買っておりましたが、この間ようやく毎月発行出来るよう定着してまいりました。今年度は、更にこれを発展させ、毎月上旬（１日～５日）発行に定着させ、内容も極力最新の情報、新鮮な企画記事を作り読者の方々にお届けしようと考えております。

つきましては、みなさんに以下の点でご協力いただけますようお願い致します。

◎各試合の結果を早急にご送付下さい

各地の試合の結果を出来るだけ早く、沢山の試合を掲載したいと考えています。そのためにもシーズン中は増頁をしても掲載する予定ですので、試合終了後なるべく早く日本協会機関誌担当宛ご送付下さるようお願いします。その際、試合の結果はもちろん、期日、開催場所、優勝チームが何年ぶり何回目といった点を出来るだけ明記して下さるようお願い致します。ご送付いただいた試合結果は、毎月月末までに到着したものについては、その翌々月号（例、４月末到着のものは６月号）に掲載出来るようにしたいと考えています。

◎各地のニュースを出来るだけ機関紙にお知らせ下さい

各地協会などの催し物（例、何周年記念行事など）、協会所在地、役員などの変更、小学生、ママさん大会などの開催……さまざまなニュースをお知らせ下さい。

賛助会通信

賛助会の輪をもっと広げよう

——新会員の紹介をお願いします——

ハンドボールはどうして民放テレビに映らないのか？ハンドボール愛好者がいつも口にする言葉です。そうです。ハンドボールが電波に乗るのは、ＮＨＫ教育テレビの全日本総合とスポーツニュースぐらいです。民放の放映には何千万円という金がかかります。そのためのスポンサーがつくかつかないかは視聴率、観客動員次第です。日本協会でも、スポンサーの交渉はしていますが、どちらがにわとりか卵かはともかく、並行してハンドボールの試合を見ていただくファンを多く集めていただくことが大切です。

賛助会の年度は、暫定的に１月から12月までとなっています。賛助会費収入から機関紙増刷及び送料等の経費を控除した残金は、ナショナルチームの強化や普及事業などの財源にあてられています。

選手強化には相当な金がかかるうえ、ロス・オリンピックで痛感されたように若手選手（高校生から中学生まで）の育成強化にはこれまで以上に金がかかります。

また、日本協会は、小学校に対するハンドボールの普及を当面の最大の課題としています（これが頂点強化にもつながります。）それが親子ハンドボールにつながって、ハンドボールの輪はますます大きくなっていく……。

どうか賛助会の皆さんも、そのような輪の核となって、その輪をもっともっと大きくしていって欲しいと思います。お一人が２名、３名の知人を誘っていただければ、会員の数は直ちに数倍になります。

会員の特典として、特別頒価のビデオの製作監修が具体化しつつあります。「賛助会だより」は、当分この「賛助会通信」で代えさせていただきます。いろいろなご意見をお寄せください。

また、賛助会の幹事（パーティーなどの世話役）を募っておりますので、ご希望の方はご連絡をお待ちしています。

〒150 東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育館内
（財）日本ハンドボール協会賛助会
TEL（03）481-2361（代）

▶60年度会員

◎特別法人会員

東京重機工業㈱、伊藤忠商事㈱、立石電機㈱、本田技研工業㈱鈴鹿製作所、大崎電気工業㈱、本田技研工業㈱熊本製作所、日新製鋼㈱呉製鉄所、ジャスコ㈱、中村荷役運輸㈱、㈱日立製作所栃木工場、㈱大和銀行、**㈱北国銀行、東北ムネカタ㈱、大同特殊鋼㈱、トヨタ自動車㈱**

◎特別個人会員

斎藤英四郎（日本協会・東京都）、荒川清美、武田喜三、大野金一（同）、武内史衛（日本協会公認会計士）、阿部二郎（日本協会・茨城県）、黒田富郎（日本協会・日野市）、村田弘（日本協会・堺市）、柳井文治（日本協会・下松市）、中沢重夫（日本協会・東京都）、幸村稔（名古屋市）、木下浩次（名古屋市）、大西武三（日本協会・茨城県）、金原至（日本協会・氷見市）、三鴨博（立川市）、幡谷祐一（水戸市）、日野博（北九州市）、北川勇喜（日本協会・横浜市）、安藤純光（日本協会・日野市）、滝口三郎（日本協会・東京都）、平井博道（大阪市）、福島富造（富田林市）、富永邵（日本協会・水戸市）、田中滋章（日本協会・名古屋市）、木下秀男（佐久市）、北原佐久生（長野県）、油井孝一郎（佐久市）、新津真澄（長野県）、柳沢民弥（日本協会・佐久市）、井田萬三郎（浦和市）、乃村正数（坂出市）、中根武彦（日本協会・亀山市）、藤田八郎（日本協会・熊本市）、入江信太郎（日本協会・茨城県）、滝沢武（栃木市）、山田稔（日本協会・藤井寺市）、岡田卓也（東京都）、高田日呂美（日本協会・東京都）、渡辺慶寿（日本協会・宇都宮市）、岡前義春（日本協会・府中市）、嶋田新太郎（氷見市）、川上整司（日本協会・狭山市）、**宇津野年一（名古屋市）、李寿旭（東八代郡）、里和則（日本協会・境港市）、竹内義文（横浜市）、新家谷隆夫（大阪市）、平野恭夫（津島市）、荏畑平男（大阪市）**

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二四〇号
昭和四十年六月七日第三種郵便物認可
昭和六十年四月二十五日印刷　昭和六十年五月一日発行
東京都渋谷区神南一―一―一
電話 代表（481）二三六一
振替 東京 六―五八三四八番
編集兼発行人　大野金一
定価三百五十円
（年間購読料三千三百円）